

Arcserve Unified Data Protection 9.x Stratus ztC Edge 環境構築ガイド インストール〜仮想マシン復旧編

はじめに1
検証環境について2
1. インストール
1.1 インストール .3 1.2 バージョンの確認 .9 1.3 ライセンス キーの登録 .10 1.4 修正ファイルの適用 .11
2. バックアップ運用の開始12
2.1 バックアップ設定12
3. バックアップ スケジュールの設定例22
3.1 バックアップ スケジュールの設定例22
4. バックアップ 設定のエクスポートとインポート
4.1 バックアップ 設定のエクスポート24 4.2 バックアップ 設定のインポート
5. ベアメタル復旧(※復旧メディアを使った仮想マシンの復旧)
5.1 復旧用メディアの作成
6. ztC Edge 製品情報、お問い合わせ先73
6.1 製品情報





改定履歴

2023 年 8 月 Rev1.0 リリース

すべての製品名、サービス名、会社名およびロゴは、各社の商標、または登録商標です。

本手順書は情報提供を目的とし、2023 年 8 月現在の製品仕様をもとに記述しています。本資料の内容は通知なく変更され る場合があります。Stratus Technologies Japan, Inc. (以下、Stratus) および Arcserve は本情報の正確性または完全性に 対して一切の責任を負いません。Stratus および Arcserve は、該当する法律が許す範囲で、いかなる種類の保証(商品性、 特定の目的に対する適合性または非侵害に関する黙示の保証を含みます(ただし、これに限定されません))も伴わずに、 このドキュメントを「現状有姿で」提供します。Stratus および Arcserve は、利益損失、投資損失、事業中断、営業権の喪 失、またはデータの喪失など(ただし、これに限定されません)、このドキュメントに関連する直接損害または間接損害に ついては、Stratus および Arcserve がその損害の可能性の通知を明示的に受けていた場合であっても一切の責任を負いませ ん。

© 2023 Stratus Technologies Ireland Limited.., Arcserve, LLC and / or one of its subsidiaries. All rights reserved.



はじめに

Stratus ztC Edge(以降 ztC Edge) は、自己監視機能と自己保護機能を備え、計画外のダウンタイムの低減、システムの再起動を必要とせず、稼働中に動作環境を更新できるため、計画的なダウンタイムを削減しますので、稼働率の優れたシステムになります。

また、冗長化されたペアとして導入された場合、ztC Edge 上の仮想マシン(VM)は自動的に保護され、VM データはノ ード間で自動的に同期されます。一方のノードで稼働している VM は、ノード障害が発生した場合、自動的にもう一方 のノードで再起動(HA:高可用性モード)または再開(FT:フォールトトレラントモード)されます。

ztC Edge は、一方のノードでネットワークやディスクの障害が検出されると、オペレータの介入なしに、自動的にトラ フィックを再ルーティングし、もう一方のノードのデータを使用して VM の動作を継続します。

しかし、災害等による両系ノードの物理障害、もしくは人為的なミスや VM 内のファイルシステムの破損等の論理障害 で VM 起動が不可能となった場合、VM のリカバリが必要になるケースが考えられます。

そこで本手順書では、Stratus ztC Edge における Arcserve Unified Data Protection (以降 UDP と表記) Agent を用 いた VM のオンラインバックアップ、および BMR メディア(ISO イメージ)を用いた VM 復旧手順を解説いたします。 これにより、仮想マシンのバックアップの自動化・スケジューリングが可能となります。

ノードの復旧に関しては、システム基本情報を取得する事により、30分程度で ztC Edge システムを復元する事が可能 で、通常は、ノード間でシステム基本情報を保持しているので、日々のバックアップは不要です。台数が多い環境では 「UDP 管理コンソール」からすべてのサーバを一元管理する運用もできます。バックアップ対象ノードに UDP Agent をリモートでインストールや、バックアップの設定(プラン)を一斉に配信することもできます。

UDP 管理コンソール利用時は、バックアップ先として「復旧ポイントサーバ」も利用できます。これにより、バックア ップデータの重複排除や、遠隔地への転送機能が提供されます。また、負荷のかかるマージやカタログ作成処理を UDP Agent に代わって復旧ポイントサーバ側で実行することができるため、保護対象サーバやネットワークへの負荷を低減で きます。

UDP 管理コンソールや復旧ポイントサーバの導入については、下記の環境構築ガイドをご参照ください。 https://www.arcserve.com/jp/udp-9x-console-install-guide.pdf





Rev:1.0

検証環境について

【ztC Edge 情報】 機種:ztC Edge250i バージョン:2.3.2-32

○ 仮想マシン情報 ①

ブートインターフェース:BIOS

保護:FT

OS : Windows Server 2022 Standard

ドライブ: C ドライブ (100GB)、D ドライブ (50GB)

※vHDDを分けた場合と、1つのvHDD内でパーティションを分けた場合で検証実施

※新規仮想マシンへのリカバリテスト実施

○ 仮想マシン情報 ②

ブートインターフェース: UEFI

保護:FT

OS : Windows Server 2022 Standard

ドライブ: C ドライブ(100GB)、D ドライブ(50GB)

※vHDD を分けた場合と、1 つの vHDD 内でパーティションを分けた場合で検証実施

※新規仮想マシンへのリカバリテスト実施





1. インストール

説明手順は、ご使用の環境により一部手順が異なる場合がありますのでご注意ください。

インストールの必要なディスク要件は、環境により異なりますので下記動作要件をご参照ください。

Arcserve UDP 9.x 動作要件

https://support.arcserve.com/s/article/Arcserve-UDP-9-0-Software-Compatibility-Matrix?language=ja

なお、旧バージョンからのアップグレードについては、以下をご参照ください。

Arcserve UDP 9.x のインストール・アップグレードについて https://support.arcserve.com/s/article/2023011601?language=ja

1.1 インストール

(1) [インストールの開始]

Arcserve Unified Data Protection (以降 UDP と表記)の Agent をインストールするコンピュータに、Administrator または、Administrators グループのユーザでログオンします。「Arcserve Unified Data Protection」インストール メディアをセットし、[setup.exe] を実行します。セットアップ ウィザードが開始されます。 ※ダウンロードした Arcserve_Unified_Data_Protection.exe からもインストール可能です。

(2) [セットアップ言語の選択]

[Japanese / 日本語] を確認し、[OK] をクリックします。

セットアップ言語の選択		\times	
17	言語を選択します。		
	Japanese / 日本語	\sim	
	OK キャンセル		

Visual C++ 2019 再頒布可能パッケージおよび関連する KB に関する考慮事項

環境によっては、Arcserve UDP 9.x のエージェントをインストールする際に「Microsoft Visual C++ 2019 再頒布 可能パッケージおよび関連する KB をインストールする」メッセージが表示される場合があります。

Arcserve Unified Data Protection セットアップ 🛛 🔍
Windows Server 2012 R2 Standard Evaluation マシン上で Arcserve Unified Data Protection をサポートするするため、Visual C++ 2019 再頒 布可能パッケージおよび関連する KB をインストールします。 続行しますか?
(はい(Y) いいえ(N)

[はい]をクリックしてインストールを継続してください。





(3) [使用許諾契約]

使用許諾契約を最後まで読み、同意する場合は[使用許諾契約の条項に同意します]を選択し[次へ]をクリックします。

使用許諾契約	使用許諾契約
インストールの種類	本製品にはサードパーティ製のソフトウェア製品が含まれている場合があり、それらの製品をインストールする前にサードパーティ製品の追
デスティネーション フォルダ	用条件にも同意いただ、必要があります。追加使用条件は、弊社のエンドユーザ使用は結契約書の後に記載されています。
環境設定	Arcserve (USA) LLC
ファイアウォールの例外	エンドユーザ使用計聴契約
サマリ サマリ インストールの進捗状況 インストール レポート	本エンドユーザ使用計認契約(以下「本契約1)は、ソフトウェア製品を使用する、またはハードウェア製品を購入する組織または個人と、 Arcserve (USA) LLC または StorageCraft Technology, LLC (「Arcserve]) との闇の法的に有効かつ強制力のある契約です。購入 クラフドサービスが含まれている場合、本規約に定める条件に加え、https://www.arcserve.com/jp/cloud-services または Arcserv が公開している後継サイトに掲載されているクラウドサービス条件に拘束されることに同意するものとします。 本製品をインストールLC使用する前に、製品の使用に関する以下の契約条件を全くお読みください。本契約では、お客様は「ライセン 契約者」と表記されます。 (同費ボタンをクリックする、または手動/サイレンド/無人/ブッシュインストール等によるソフトウェア製品のインストール、またはインストー だきるの他の方法で本契約の条件に同意したことを示した場合、本契約の利用条件に同意があったのとします。本契約に関連する により: () 本製品を使用してインストールする、またはソフトウェア製品の使用、またはソフトウェア製品のパンケージのシールを開封した持ち、おお たはその他の方法で本契約の条件に同意したことを示した場合、本契約の利用条件に同意があったのとします。本契約に相応 するものとします。 (i) オーダーフォームまたは価格表にパードウェア製品を組み合わせて使用する、すべてのソフトウェア製品の契約にも同 するものとします。 (ii) オーダーフォームまたは価格表にパードウェア製品が含まれている場合、https://www.arcserve.com/hardware-product- scheduleでノメ手可能なお客様の進利、義務、およびかかるパードウェア製品の運搬に関する Arcserve のパードプェア製品のスプジュー 1+ャ 同事キャルトレ
2日情報	 ●使用計括契約の条項に同意します(A) ○使用計括契約の条項に同意しません(D)

(4) [インストール タイプの選択][インストールするコンポーネントの選択] で、[Arcserve Unified Data Protection – エージェント] が選択されていることを確認し、[次へ] をクリックします。

Arcserve Unified Data Protection 12%	トアップ
arcserve	UNIFIED DATA PROTECTION
 ◆ 使用時間認知 ・ インストールの理想 デスティネーシュンシャルダ 環境設定 ファイアウォールの相外 メッセージ サマレ 	インストール タイプの選択 「シストール タイプの選択 インストールするコンポーネントの選択 Arcsarve Unified Data Protection - ユージュント (Arcsarve UDP ユージェント のみが含まれます。)
インストールの値が表現 インストール しオート	Arcserve Unified Data Protection - フル (Arcserve UDPコンソール、WB日本イントサード、なよび エージェント が含まれます。)
製品情報 191-3.2-ト ナ1-32.5:30-	☑ Ancserve UDP I ージエント 変更トラッキングドライバモインストールする(T) このドライバは、このシステルの増分パックアップを実行する場合に必要です。たびし、このシステルが伝想スタンバイモニタまたはホスト ベース VM4 パックアップ プロキッとしてのか 使用される場合は必要ありません。
パージョン 9.0 (出版 6034)	< 戻る(8) 次へ(N) > キャンセル





(5) [デスティネーション フォルダの選択]

インストール先フォルダを確認し、[次へ]をクリックします。

Arcserve Unified Data Protection セットアップ					
arcserve	[®] UNIFIED DATA PROTEC	CTION			
 ✓ 使用許諾契約 ✓ インストールの種類 ◆ デスティネーション フォルダ 	デスティネーション フォルダのズ C:¥Program Files¥Arcserve¥	置訳: Unified Data Protection¥			参照(O)
環境設定 ファイアウォールの例外 メッセージ サマリ インストールの進捗状況 インストール レポート 製品情報 リリース ノート ナレッジ センター	必要な領域: Cで使用可能な容量:	1.89 GB 33.24 GB			
パージョン 9.0 (ビルド 6034)			< 戻る(B)	次へ(N) >	キャンセル

(6) [環境設定]

使用するプロトコルを「HTTPS」または「HTTP」から選択します。ここでは、HTTPS(デフォルト)を選択し ます。また、Windows ファイアウォールに登録するポート番号を確認します。

デフォルトで設定されるポート番号は「8014」です。ここで登録したポート番号を使用して、UDP Agent の操作 をリモートのブラウザからも行うことができます。バックアップに使用する Windows 管理者の名前 [ユーザ名]を 確認し、[パスワード] を入力後、[次へ] をクリックします。

Arcserve Unified Data Protection セットノッフ			
arcserve	UNIFIED DATA PROTECTION		
 使用は話契約 インストールの種類 デスティネーション フォルダ 環境設定 ファイアウォールの例外 	環境設定 プロトコル ・ 注: より安全な遺信のためには、HTTPS の通信	HTTPS ~ プロトコルが提供されます。	
メッセーン サマリ インストールの進捗状況 インストール レポート	エージェントポート: 管理者権限のあるアカウントを指定する ユーザ名: パスワード: Arcserve UDP エージェントモニタの表示:	8014 Administrator ● すべてのユーザ ○ 現在のユーザのみ	
製品情報 リリースノート ナレッジ センター			
パージョン 9.0 (ビルド 6034)		< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル	





(7) [ファイアウォールの例外]

Windows ファイアウォールの例外として登録します。内容を確認し、[次へ] をクリックします。

arcserve	UNIFIED DATA PROTI	ECTION
 使用計誌契約 インストールの種類 デスティネーション フォルダ 環境時定 	ファイアウォールの例外 以下のプログラムを Windows	ファイアウォールの例外として登録します:
→ ファイアウォールの例外	サービス/プログラム	<i>/</i> /λ
メッセージ	AFD2DMonitor.exe	C:¥Program Files¥Arcserve¥Unified Data Protection¥Engine¥BIN¥AFD2DMonitor.exe
サマリ	HATransServer.exe	C:¥Program Files¥Arcserve¥Unified Data Protection¥Engine¥BIN¥HATransServer.exe
インストールの進捗状況	ARCUpdate.exe	CitProgram FilestArcservetUnified Data Protection#Engine#bilv#HA transcioudservet.exe
インストールレポート	tomcat9.exe	C:#Program Files#Arcserve#Unified Data Protection#Common#TOMCAT#bin#tomcat9.exe
製品情報		
<u>99-27-F</u>		
<u>ナレッジ センター</u>		

(8) [メッセージ]

セットアップの検証が完了し、インストールの準備が整いました。[次へ]をクリックして進めます。

Arcserve Unified Data Protection セットアップ			
arcserve	UNIFIED DATA PROTECTION		
 使用許諾契約 インストールの種類 デスティネーションフォルダ 環境設定 ファイアウォールの例外 メワセージ サマッ インストールの進捗状況 インストールレポート 	メッセージ セットアップによる検証が完了し、選択されたコンボーネントをインストールする準備が整いました。		
<mark>製品情報</mark> リリースノート ナレッジ センター			
パージョン 9.0 (ビルド 6034)	< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル		





(9) [サマリ]

サマリ内の設定項目が正しければ [インストール] をクリックし、インストールを開始します。もし相違があれば [戻る] をクリックして前に戻り、再設定します。

Arcserve Unified Data Protection セットアップ		
arcserve	UNIFIED DATA PROTECTION	
 ◆ 使用許諾契約 ◆ インストールの種類 ◆ デスティネーション フォルダ ◆ 環境設定 	サマリ [インストール] をクリックして以下の設定でインストールを開始するか、[戻る] をクリックして設定を変更します。 □ Arcserve Unified Data Protection	
✓ ファイアワォールの1例9下	インストール パス C¥Program Files¥Arcserve¥Unified Data Protection¥	
🛩 メッセージ	通信プロトコル HTTPS	
→ มี∠ก	H Arcserve UDP 1-ジェノト ポート番号 8014	
インストールの進捗状況	ドライバのインストール はい	
製品情報		
<u></u>		
<u>ナレッジ センター</u>		
パージョン 9.0 (ビルド 6034)	< 戻る(8) インストール(1) キャンセル	

(10) [インストールの進捗状況]

インストール全体の進捗状況を確認します。

Arcserve Unified Data Protection セッ	トアップ
arcserve	UNIFIED DATA PROTECTION
 使用非諾契約 インストールの種類 デスティネーションフォルダ 環境設定 ファイアウォールの例外 メッセージ サマリ インストールの進捗状況 インストールレポート 	C使用のマシンに Microsoft Visual C++ 2022 Redistributable (x86) をインストールにています。
製品情報 リリースフート ナレッジ センター	至体の進捗状況。
パージョン 9.0 (ビルド 6034)	次へ(N) > キャンセル





(11) [インストールレポート]

「インストールが完了しました」のメッセージを確認し、[完了] をクリックします。デフォルトは、インターネットが接続できる環境であれば、製品の更新を確認し最新の状態にすることができます。またチェックを外し、 更新を確認せずに [完了] させることもできます。

オフライン環境で更新を手動で適用する場合、ここよりダウンロードしてください。

Arcserve Unified Data Protection セットアップ		
arcserve	UNIFIED DATA PROTECTION	
 	 ● インストールが完了しました。 Arcserve Unified Data Protection 製品は正常にインストールされました。 ✓更新を今ずぐ確認する(C) 	
更新の確認	インストールウィザードを終了するには、「死了」を少りっりてください。 Arcserve UDP エー ジェント for Linux のインストール Arcserve UDP エージェント for Linux (人 物理)仮想 Linux マシンの環境に対して推視されます。互換性のある Linux パージョンに対して、Linux ノートのロージェント ベース ハッジア かまび DJ 入トア、BMR あよびインスタント VM、UDP ホストベース エージェントレス プランで 保護されている VM に対する基準用サイル/ファルジ JL XFPを提供します。 Arcserve UDP エージェント for Linux をがウンロードしてインストール	
製品情報 <u>リリース ノート</u> ナレッジ センター パージョン 9.0 (ビルド 6034)	荣 了(f)	

(12) [更新の確認]

[更新の確認] 画面からダウンロード経路を選択して、[更新] をクリックしてダウンロードが開始されます。 当画面は、(プロキシを経由しない)直接ダウンロードをした場合になります。

Arcserve Unified Data Protection セット	דיד
arcserve	UNIFIED DATA PROTECTION
更新の確認	
利用可能なすべての更新がダウ	ンロードおよびインストールされます。この更新在ダウンロードするソースを選択し、[更新]をクリックします。
● Arcserve サーバから更新をう	א-סעלי
□ プロキシ サーバを使用	
プロキシ サーバ:	
ポート:	
プロキシ サーバには	認証が必要
ユーザ名:	
パスワード:	
○ ステージング サーパから更新を	ダウンロード
	更新キャンセル

※ お客様ご利用の OS やアプリケーションのインストール状況により再起動を求められる場合があります。再起動を求められた場合は、[はい] をクリックしシステムを再起動してください。





1.2 バージョンの確認

(1). [タスクトレイアイコン]

タスクトレイの UDP アイコンをクリックし、メニュー画面を表示し[バージョン情報]をクリックします。

>



(2). [バージョンの確認]

バージョンの確認ができます。

Arcserve UDP エージェント のバージョン情報					
Arcserve Unified Data Protection バージョン: 9.0.6034 本製品は Arcserve (米国)、LLC によってライセンスされます Copyright (c) 2014-2022, Arcserve (USA), LLC. All rights reserved. No unauthorized copying or distribution is permitted.					
<u>уу-д /</u> ок					
	e UDP エージェント のバージョン情報 Arcserve Unified Data Protection バージョン: 9.0.6034 本製品は Arcserve (米国)、LLC によってライセンスされます Copyright (c) 2014-2022, Arcserve (USA), LLC. All rights reserved. No unauthorized copying or distribution is permitted. <u>リリースノート</u>				





1.3 ライセンス キーの登録

Windows タスクトレイの [エージェント モニタ] アイコンをクリックし [拡張] - [ライセンス] と選択し、[ライセン ス確認エントリ] よりライセンス登録を行います。

(1) ライセンス画面の起動

	Arcserve UDP エージェントを開く
	今すぐバックアップ
	設定
	リストア
	復旧ポイントのコピー
	復旧ポイントのマウント
	更新の確認
ブートキット ウィザード	1. 1/2E
2 1471 212 1	104.155
ライセンス	バージョン情報
サービスの停止	終了
通知 >	
	^ € 4 <mark>8</mark> A ^{17:24} 2023/01/16

(2) キーの入力

[ライセンス確認エントリ] 画面で、Arcserve UDP Windows エージェントのキーを [ライセンスキー(L)] 欄に入 カし、[追加] をクリックします。キーが追加され、コンポーネント名にライセンスが追加されたことを確認 し、[OK] で終了します

ライセンス確認エントリ	ライセンス確認エントリ
-コンポーネント 以下は、ライセンス取得済みのコンポーネントです。ユーザ数を増や す、または新規コンポーネントのライセンスを取得するには、新しいラ イセンス キーを入力してください。 コンポーネント名 ライセンス数	
ライセンス キー(L): AAAAA 「BBBBBB 「CCCCC 「DODOO EEEEE」	ライセンス キー(L): う知(A) 0K(0) キャンセル(C) ヘルプ





1.4 修正ファイルの適用

修正ファイルの入手と適用には以下の2つの方法があります。

(1). UDP Agent の更新機能を使用

UDP Agent のインストールされているマシンで Web へのアクセスが可能な場合、修正ファイルを Arcserve サポート サイトからスケジュールでダウンロードするか、[ヘルプ] メニューから[更新の確認]で手動にてダウンロードできます。

ダウンロードした修正ファイルは任意の時間に、手動で適用する事が可能です。

(2). Arcserve サポート サイトを利用
 Arcserve サポート サイトから修正ファイルを手動でダウンロードし、適用。修正ファイルは以下の URL からダウンロード可能です。
 https://support.arcserve.com/s/topic/0TO1R000001MGBFWA4/arcserve-udp?language=ja





2. バックアップ運用の開始

ここではデフォルト設定による最も簡単な運用開始手順を説明します。

以下の説明に従って、初めてバックアップ設定を保存した場合、毎日 22:00 にバックアップが自動的にスケジュールされます。運用要件に応じバックアップ設定を変更するには、本章「3.1 バックアップ スケジュールの設定例」を参照してください。

2.1 バックアップ設定

(1) [設定]

タスク トレイ上の UDP アイコンをクリックし、メニューから [Arcserve UDP エージェントを開く] をクリック します。



(2) [UDP エージェントの起動]

既定のブラウザが起動しますが、ここでは Microsoft Edge (バージョン 108.0.1462.54) での例を紹介します。 デフォルトの証明書が証明機関によって識別されないため、警告が表示されます。[詳細設定] を展開し [localhost に進む (安全ではありません)]を選択し続行します







(3) [証明書エラーの確認]

アドレスバーの [セキュリティ保護なし] をクリックし、続いて [>] をクリックします。 証明書アイコンをクリックし、サイトの証明書を表示します



(4) [証明書のエクスポート]

証明書を表示し、[詳細] タブをクリック、エクスポートするファイル名を指定します。

ここでは C ドライブ直下に [UDP.cer] で作成し、[保存]をクリックします。

× +		
護なし https://localhost:8014	A® IG	£'≡ 9
-: win-1ahsv7ohk1k		\times
HE(D)		
/ohk1k		
ールド		
ohk1k		-
ージョン		
ノアル番号		
月書碁名アルゴリズム		
7 8		
討性		
有効期間の開始日		
		Ŧ
	エクスボ	– ŀ•(X)





● 名前を付けて保存					×
$\leftrightarrow \rightarrow \uparrow \uparrow$	 PC > ダウンロード 	ٽ ~	ダウンロードの検索		Q
整理 ▼ 新しいフ	フォルダー				?
 ★ 9イック アクセス ■ デスクトップ ↓ ダウンロード ※ ドキュメント ※ ビクチャ ■ PC ▲ DVD ドライブ (D: ▲ ネットワーク 	名前 * * * :) SSS_)	検索条件に一致す	更新日時	v v	種判
ファイルタ(N)・	< UDPcer				3
ファイルの種類(T):	Base64 でエンコードされた A	SCII、単一の証明書			~
▲ フォルダーの非表示			保存(S)	キャンセル	

(5) [証明書のインポート]

Microsoft Edge の [設定] を開きます。

▲ セキュリティ保護なし https://localhost:8014		A" t ₀ t =	Ge 😩	
証明書ビューアー: win-1ahsv7ohk1k		新しいタブ	Ctrl+T	
全般(G) 詳細(D)		新しいウィンドウ	Ctrl+N	
	Ę	新しい InPrivate ウィンドウ	Ctrl+Shift+N	
証明書の階層		x-4 —	100% +	2
win-1ahsv7ohk1k	^			
	£≡	お気に入り	Ctrl+Shift+O	
	Ē	コレクション	Ctrl+Shift+Y	
証明書のフィールド	Ð	履歷	Ctrl+H	
win-1ahsv7ohk1k	<u>+</u>	ダウンロード	Ctrl+J	
▽ 証明書	BÊ	アプリ		>
バージョン	65	ゲーム		
シリアル番号	3	拡張機能		
証明書署名アルゴリズム	ጽ	Microsoft Rewards		
発行者	÷	パフォーマンス		
▽ 有効性	a	印刷	Ctrl+P	
有効期間の開始日	in a	Wab to Tto	Ctrl + Shift + S	
	0	Web (+) / /	CHI-CHIR+V	
ノイールト値		Web 選択	Ctri+Snitt+X	
	e	共有		
	ଧ୍	ページ内の検索	Ctrl+F	
	A»	音声で読み上げる	Ctrl+Shift+U	
		その他のツール		>
	ŝ	設定		
	۲	サイドバーを表示	Ctrl+Shift+/	
	?	ヘルプとフィードバック		>
		Microsoft Edge を閉じる		





 \times ...

	V 1238V 2			0						
🗖 🛛 🖉 Arcserv	e UDP エージェント	×	◎ 設定		× +	-		- -	ð	×
< C (🔁 Edge edge://	settings/	privacy			to	ເ∕≡	Ē		
≡ 設定						٥	、設定	の検索		
0 JOJ	アイル		のプライバミ		rı\±	ŧ				
🖯 751	2777/ル (2) ジェク (2) ジェク (2) ジェク 2777/ル (3) ジェク (3) ジェク (3) ジェク 2777/ル (3) ジェク (3) ジェク (3) ジェク 2777/ル (3) ジェク (3) ジェク (3) ジェク 2777/ル (3) ジェク (4) ジェク (4) ジェク 2777/ル (4) ジェク (4) ジェク (4) ジェク 2777/ル (4) ジェク (4) ジェク (4) ジェク 2777/ル (4) ジェク (4) ジェク (4) ジェク 2777/ル (5) ジェク (5) ジェク (5) ジェク 2777/ル (5) ジェク <th></th>									
③ 外観			対する取り組み	こついての詳細						
回 [スタ- 規] s	-ト]、[ホーム]、および [i フブ	新								
12 共有	、コピーして貼り付け		る情報を収集しま	す。Web サイトて	いよ、この)情報を使	意用して、	ታイトの	改善や/	r-y
🔂 Cook	vie とサイトのアクセス計	Ŧ可	場合があります。	一部のトラッカーで	ミは、ユ-	ザーの情	報を収算	真し、アク	セスした	ことが

[プライバシー、検索、サービス] を開きます。

🕞 既定のブラウザー 业 ダウンロード

👺 ファミリー セーフティ

[セキュリティ設定]までスクロールし、[証明書の管理]をクリックすると、証明書画面が表示されるので、

□ 厳重

[信頼されたルート証明機関]タブから [インポート] をクリックします。

ポネ バランス

セキュリティ	
Microsoft Edge のセキュリティ設定を管理	
証明書の管理 HTTPS/SSL の証明書と設定を管理します	Ø
Microsoft Defender SmartScreen Microsoft Defender SmartScreen を使って悪意のあるサイトやダウンロードから保護する	
望ましくない可能性のあるアプリをプロックする	$\overline{\bullet}$

証明書				×
目的(N): <	すべて>			~
個人 ほかの人 中間証	明機関 信頼されたルート	証明機関	頼された発行元(信	頼されない発行元
発行先	発行者	有効期限	フレンドリ名	^
Baltimore CyberTr	Baltimore CyberTrust	2025/05/13	DigiCert Baltim	
🔄 Class 3 Public Pri	Class 3 Public Primar	2028/08/02	VeriSign Class 3	
📮 Copyright (c) 1997	Copyright (c) 1997	1999/12/31	Microsoft Times	
🔄 DigiCert Assured I	DigiCert Assured ID	2031/11/10	DigiCert	
🔄 DigiCert Global Ro	DigiCert Global Root	2031/11/10	DigiCert	
🔄 DigiCert Global Ro	DigiCert Global Root	2038/01/15	DigiCert Global	
🔄 Microsoft Authent	Microsoft Authentic	2000/01/01	Microsoft Auth	
Microsoft ECC Pro	Microsoft ECC Produ	2043/02/28	Microsoft ECC R.,	
Microsoft ECC TS	Microsoft ECC TS Ro	2043/02/28	Microsoft ECC T	
	MACHINE DE LE ALLER	0000/40/04	M:	*
インポート(I) エクスポー	-卜(E) 削除(R)			詳細設定(A)

Stratus¹ ztC Edge⁻



(6) 証明書のインポート ウィザード が表示されますので、[次へ] をクリックします。



インポートする証明書ファイルを指定しますので、先ほどエクスポートした証明書ファイルのパスを指定して [次へ] をクリックします。

ボートする証明書ファイル			
インポートするファイルを指定してくだる	ວ້ເນ.		
ファイル名(F):			
I			参照(R)
注意: 次の形式を使うと 1 つのファイ	「ルに複数の証明書を保管できます	t:	
Personal Information Exchar	nge- PKCS #12 (.PFX,.P12)		
Cryptographic Message Synt	tax Standard- PKCS #7 証明書 ((.P7B)	
Microsoft シリアル化された証明	明書ストア (.SST)		





[証明書をすべて次のストアに配置する]を選択します。

証明書ストアに[信頼されたルート証明機関]が表示されていることを確認し、[OK] をクリックします。

	×	:
←	퉫 証明書のインポート ウィザード	
	証明書ストア	
	証明書ストアは、証明書が保管されるシステム上の領域です。	
	Windows に証明書ストアを自動的に選択させるか、証明書の場所を指定することができます。	
	○ 証明書の種類に基づいて、自動的に証明書ストアを選択する(U)	
	● 証明書をすべて次のストアに配置する(P)	
	証明書ストア:	
	信頼されたルート証明機関 参照(R)	
		_
	次へ(N) キャンセル	
証明	書がインポートする内容を確認し、[完了] を押します。	_
		,
		۰
~	♪ 証明書のインボート ウィザード	
	ᅗᄪᆂᅀᇧᅶᆙᆝᇰᅸᆙᇗᆣᄀ	
	証明書のインホート ワイサートの完了	
	[完了]をクリックすると、証明書がインポートされます。	
	次の設定が指定されました:	
	ユーザーが選択した証明書ストア 信頼されたルート証明機関	
	内容 証明書	



完了(F)

キャンセル



証明書をインストールする旨、セキュリティ警告画面が出てきますが、[はい] をクリックしインポートします。正しくインポートされたのを確認したら、[OK] を押してブラウザを再起動します



(7) [ログイン]

ブラウザを再起動し(1)の手順で再度 [Arcserve UDP エージェント開く] をクリックし、UDP エージェントのロ グイン画面を開き、証明書エラーが解消されていることを確認します。

インストール時に指定したアカウントでログインします。ここでは、このまま「Administrator」アカウントでログインします。[パスワード] 入力し、[ログイン] をクリックします







(8) [設定] - [バックアップ設定]

初回ログイン時、Arcserve UDP エージェントの使用方法の画面が表示されますが、[閉じる]をクリックし、画 面右側のナビゲーション→タスク→[設定] 画面の [保護設定] をクリックします。UDP では必ず [バックアップ 先] を指定する必要があるので、「バックアップ先」 の [参照] ボタンをクリックして指定します

設定		
4 🌛 バックアップ設定	伊菲沙宁	*
首 保護設定	体感以化	
スケジュール	、バックアップ先	- 1
◎ 拡張	ファイルのバックアップ先を選択してください。	- 1
【 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、		
▲ 🔀 ファイル コピー設定	金属	
🚵 ソース		
デスティネーション	ビットマップケジェアナシャクテークへビットマップへ通知を渡付してくセイン	- 1
スケジュール	ハックアップ元が変更されたので、次のハックアップの推測を進伏してくたさい。	- 1
▲ 🚵 ファイル アーカイブ設定	◎ フル バックアップ 〇 増分 バックアップ	- 1
ふ ソース		- 11
デスティネーション	> バックアップ ソース	
◎ スケジュール	・ すべてのボリュームのバックアップ	
▲ 🛃 復旧ポイントのコピー	〇 選択したボリュームのバックアップ	- 1
▲ コピー設定		- 1
▲ 🛃 環境設定	- ◇)通入 (0 個の習音)	- 1
<3 一般		- 11
◎ 電子メール アラート	▼バックアップ データ形式	
▲ 💽 設定のエクスボート/インオ		
		_
12 インボート	> 圧縮を有効にする	
	圧縮を使用すると、バックアップ先で必要なディスク容量が減少します。	
•	標準 ▼	-
	設定の保存 キャンセル ヘルン	7

バックアップ場所の選択を行い、[OK] をクリックします。この例では、「E:\UDP」というローカル ディスク 上のフォルダをバックアップ先として指定しています

バックアップ場所の	選択	×
フォルダの選択		+
▷ 🚍 C:\		
⊿ 🧰 E:\		
DDP		
フォルダ名:		
E'\UDP		
OK	キャンセル	

※ UDP ではローカル ディスク内のフォルダをバックアップ先として指定した場合、バックアップ先フォルダ を含むディスク全体がバックアップ対象から除外されます。ローカル ディスク内にバックアップ先を確保でき ない場合には、以下の「バックアップ先として共有フォルダを設定する方法」を参照し、共有フォルダをバッ クアップ先として設定します







[バックアップ先として共有フォルダを指定する方法]:

 共有フォルダを指定する際には、バックアップ先として"\\"で始まる UNC パスを直接入力します ここでは [\192.168.238.1\share] という共有フォルダをバックアップ先として指定します

保護設定		
バックアップ先 ファイルのバックアップ先を選択してください。		
\\192.168.238.1\share	÷	課後

② NCパスの入力後、テキストボックス横の→アイコンをクリックすると共有フォルダに接続するためのア カウント情報の入力画面が表示されます。

接続		>	<
¥¥192.168.238.1	¥share への接続		
ユーザ名			
パスワード			
ユーザ名の形式: ユ 名	ーザ名、マシン名¥ユーザ名、	、またはドメイン名¥ユーザ	
	ОК	キャンセル	

(9) [設定の保存]

[設定の保存] をクリックし設定を保存します。保存が完了すると、自動的にデフォルトのバックアップスケジ ユールが設定され、バックアップ運用が開始されます。

設定		ο×
🔺 🌄 バックアップ設定	17 -#	
📔 保護設定	休護設定	- 11
國 スケジュール	▽ バックアップ先	
	ファイルのバックアップ先を選択してください。	
📉 バックアップ実行前/後		
🔺 📉 ファイル コピー設定	E:\UDP 参照	
11 シース		•
デスティネーション	パックマップケジェーナクセッス タッパックマップの保護を没付け アノビナン	- 11
■ スケジュール	ハックアップ元が変更されたので、次のハックアップの権利を進入してください。	- 11
▲ 🛃 ファイル アーカイフ設定	◎ フルバックアップ ○ 増分バックアップ	- 11
		- 11
■ ア人ナイベーション	< バックアップ ソース	- 11
◎ スクシュール	◎ すべてのボリュームのバックアップ	- 11
	○ 選択したボリュームのバックアップ	- 11
	─ △ 通知 (1 個の警告)	- 11
		- 11
🔤 🛄 電子メール アラート	● ローカルのハックアップ先ボリューム E11は、ハックアップ ソースの違抗から味外されます。	
▲ 🛃 設定のエクスポート/インオ	uliantaant ⊐. h∎/rt	
 	(19979) XEN	
	○ 標準 ⑧ 拡張	
_		_
	▽圧縮を有効にする	
	圧縮を使用すると、バックアップ先で必要なディスク容量が減少します。	-
	設定の保存 キャンセル ヘルフ	





(10) [スケジュール確認]

バックアップ スケジュールが登録され運用が開始されます。バックアップ中のステータスや次回のスケジュー ルは UDP ホーム ページ内の [ジョブ モニタ] から確認することができます



※ デフォルトのスケジュール設定は、毎日 22:00 です。すぐにバックアップを開始する場合は、 [今すぐバックアップ] をクリックしバックアップを実施します。





3. バックアップ スケジュールの設定例

3.1 バックアップ スケジュールの設定例

ここでは、月曜日から金曜日の23時に増分バックアップを行い、土曜日および日曜日にはバックアップを実施しない 例を紹介します。

(1) [設定] 画面の起動

タスク トレイ上の UDP アイコンをクリックし、[設定] をクリックします。



(2) [設定]

バックアップ スケジュールの設定は、[設定] - [スケジュール] メニューでスケジュールを変更します。

設定				
🔺 첼 バックアップ設定				
■ 保護設定 ■ スケジュール	🕀 追加 🔻 削除			- 11
	■ タイ 」 、 説明	日月火	く水木 金土 時刻	
▲ ズ ファイル コピー設定				-11
		• • •	22.00	-11
 <u> </u> デスティネーション	スケジュールされたバックアップの	2023/01/18	22 💌 : 32 💌	
図 スケンユール ▲ N ファイル アーカイブ設定	開始時刻			
■ <u>■</u> y – ス	復旧ポイントの保存	-		
🗋 デスティネーション		1	一 甲口	- 11
			每週	- 11
▲ 展開パインドのコピー				- 11
▲ 桑 環境設定			每月	
🕃 一般		31	カスタム/手動	
■ ^{更新} ▲ 設定のエクスポート/インオ	カタログ	以下の実行後にファイル シ	ィステム カタログを生成 (検索速度向上のため):	
◎ エクスポート		日次バックアップ		
🗖 インポート		 週次八ックアッノ 日次バックマップ 		
		 コスクム/手動バックアック 	ップ	
			-	
		20		





(3) [日次増分バックアップ]の変更

[日次増分バックアップ]をクリックし、以下のように設定し、[保存]をクリックします。

開始時刻 : 23:00

曜日: 四月曜日 回火曜日 回水曜日 回木曜日 回金曜日

保持するバックアップ数 : 5

バックアップ スケジュー	ルの編集		>	<	バックアップ スケジュー	ルの編集			×
毎日			~		毎日				-
バックアップの種類	増分	*			バックアップの種類	増分	×		
開始時刻	22:00	8			開始時刻	23:00			
	 ☑ 日曜日 ☑ 水曜日 ☑ 土曜日 	 ✓ 月曜日 ✓ 木曜日 	☑ 火曜日☑ 金曜日			 □ 日曜日 ☑ 水曜日 □ 土曜日 	☑ 月曜日☑ 木曜日	☑ 火曜日 ☑ 金曜日	
保持するバックアップ数	7			7	保持するバックアップ数	7			
ヘルプ		保存	キャンセル		ヘルプ		保存	キャンセ	JL

(4) [設定の保存]

月曜日から金曜日の 23 時にバックアップを実行する設定が完了しました。[設定の保存] をクリックします。

※ カスタム バックアップで保持する復旧ポイント数は、デフォルトでは「31」ですが、バックアップ要件に あわせて変更してください。

設定								
▲ 🎂 バックアップ設定								
📋 保護設定								- 11
📾 スケジュール								- 11
◎◎ 拡張	タイ 説明	日	月り	火 水	木金	±	時刻	
📉 バックアップ実行前/後	ー ブ							- 11
▲ 🔀 ファイル コピー設定	 日次増分バックアップ 		× .	/ /	✓ ✓		23:00	
- シース								
📋 デスティネーション	_ △ 通知							- 11
30 スケジュール								
🔺 🔀 ファイル アーカイブ設定	(ブ)手動 (アドホック) バックアッフ まけまだ溶用されます。	「については、カン	スタム/手重	かくックア	ッフ スケジ	ユール	用に設定された保存設	
メース	たはよ/ご週用でれより。							
デスティネーション								_
◎ スケジュール	スケシュールされにハックアップの 問始時刻	2023/01/19		15		-		- 11
▲ 製 復旧ホイントのコピー								- 11
	復旧ポイントの保存	-						- 11
4 🚱 環境設定		5		毎日				- 11
				伝道				- 11
■ 电子メール アラート				可愿				- 11
■ 更新				毎日				
▲ 図 設定のエクスパード/イン/								
		1		カスタ	ム/手動			
	カタログ	以下の実行後にこ	アイルシ	マンテム カ	タログを生	戎 (検索	秦速度向上のため):	
		□ 日次バックア	ップ					-
			50.	金の尺方	-	to Set		
			ax.	EOKH		790		





4. バックアップ 設定のエクスポートとインポート

4.1 バックアップ 設定のエクスポート

設定した情報は、ファイルとして保管することができます。ここでは設定ファイルのエクスポートの方法を紹介します。

(1) [設定] 画面の起動

タスク トレイ上の UDP アイコンをクリックし、[設定] をクリックします。

	Arcserve UDP エージェントを開く 今すぐバックアップ
	設定
	リストア 復旧ポイントのコピー 復旧ポイントのマウント 更新の確認
	拡張 >
^ € ⊄ _∗ A ^{17:07} 2023/01/16	バージョン情報 終了

(2) [設定]

バックアップ スケジュールの設定をエクスポートする場合は、[設定] - [エクスポート] メニューで行います。

設定		
▲ 🎂 バックアップ設定	- エクスポート	
🛓 保護設定		
國 スケジュール	□ すべて選択 (設定)	
◎ 拡張	■ バックアップ設定	
、バックアップ実行前/後		
4 🜇 ファイル コピー設定	□ ファイル コピー設定	
	□ ファイル アーカイブ設定	
アステイネーション ロスケジュール。	□ 復旧ポイントのコピー	
A IN ファイル アーカイブ設定	□ 理抽验定	
▲ ソース	- WORKAL	
📋 デスティネーション		
國 スケジュール	PR-3 TUDXAL	
▲ 🔣 復旧ポイントのコピー	暗号化丰一	
<u> 自 コピー設定</u>		
▲ 梁 環境設定	増与化キーの確認	
◎ 电ナメール パフート		
■ 実初 ▲ ■ 設定のエクスポート/インオ		
■ エクスポート		
回 インボート		
_		
	エクスポート キャンセル へ	ルプ





(3) [エクスポート]

エクスポートする設定情報を選択します。ここでは [すべて選択] にチェックを入れ、すべての設定をエクスポートします。暗号化設定では暗号化キーを入力し (必須)、[エクスポート] をクリックします。

設定				ΘX
▲ 🎂 バックアップ設定	ーエクスポート			
▲ 保護設定	-			
図 スケジュール	☑ すべて選択 (設定)			
1130/1720 プま行前後。	🛛 バックアップ設定			
▲ ズックアック実行前内側	☑ ファイル コピー設定			
■ ソース	✓ ファイル アーカイブ設定			
📓 デスティネーション				
🔯 スケジュール	☑ 復旧ポイントのコピー			
🔺 🜇 ファイル アーカイブ設定	☑ 環境設定			
デスデイネーション	暗号化設定			
■ スケジュール			-	
	暗号化キー			
	暗号化キーの確認	 6		
🔤 電子メール アラート				
= 更新				
🔺 🕎 設定のエクスポート/インオ				
◎ エクスポート				
□ インポート				
		エクスポート	キャンセル	へば

エクスポートが完了したら、[OK] をクリックします。

設定の	エクスポート	
(į)	エージェント設定が正常にエクスポートされました	
	ОК	

※ 暗号化キーを忘れると、インポートができなくなりますので十分ご注意ください。





4.2 バックアップ 設定のインポート

エクスポートした設定ファイルから、設定内容を復元することができます。ここでは、設定ファイルをインポートする 方法を紹介します。

なお、バックアップ先のフォルダや共有フォルダへのアクセスなどの構成が、設定をエクスポートした環境の設定と インポートする対象の環境の設定が同じである必要があります。

(1) [設定] 画面の起動

タスク トレイ上の UDP アイコンをクリックし、[設定] をクリックします。



- (2) [設定]
 - バックアップ スケジュールの設定をインポートする場合は、[設定] [インポート] メニューで行います。

設定				ο×
▲ 🌆 バックアップ設定	ハポート			
🛓 保護設定				
🔯 スケジュール	ファイルのアップロード			
💿 拡張		43.00		
📉 バックアップ実行前/後		夢腺		
🔺 🔀 ファイル コピー設定	暗号化キー			
器 ソース		アップロー	6	
📩 デスティネーション				
🔢 スケジュール				
🔺 🔀 ファイル アーカイブ設定				
🚠 ソース	利用可能な設定		選択した設定	
🛅 デスティネーション				
🐻 スケジュール		>		
▲ 🔣 復旧ポイントのコピー		>>		
📩 コピー設定				
🔺 🚰 環境設定		<		
(1) 一般		<<		
🧧 電子メール アラート		10		
🔁 更新				
🔺 📴 設定のエクスポート/インオ				
🔟 エクスポート				
🗾 インポート				
. € F				
		インボート	キャンセル	ヘルプ





(3) [設定ファイルのアップロード]

[参照] からインポートファイルを選択し、暗号化キーを入力して [アップロード] をクリックします。

設定		
🔺 🌄 バックアップ設定	ーインボート	
💼 保護設定	1246-1	
國 スケジュール	ファイルのアップロード	
◎ 拡張	AgentSetting 8827/87059/400 ison	参昭
▲ バックアップ実行前/後	AgentSetting_00274078584400.json	OP ASS
🔺 🌇 ファイル コピー設定	暗号化キー	
▶ ソース	······································	マップロード
🛓 デスティネーション		
◎ スケジュール		
🔺 📉 ファイル アーカイフ設定		
M ソース	利用可能な設定	選択した設定
デスティネーション		
■ スケシュール		
▲ 製 復旧ホイントのコピー	>	>
		c i i i i i i i i i i i i i i i i i i i
▶ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □		
▲ BEEのエクスポート/インオ		
■ エクスポート		
□ インポート		
<		
		シボード キャンセル ヘルプ

(4) [インポート]

[利用可能な設定] からインポートしたい設定を選択し、 > をクリックして [選択した設定] に移動し、

[インポート] をクリックします。

設定			
▲ ≧ ハックアップ設定	ーインポート		
図 スクシュール	ファイルのアップロード		
■ 15%	AgentSetting_88274879594400.json	参照	
▲ ▼ ファイル コピー設定	暗号化丰一		
		マップロード	
■ デスティネーション			
🔯 スケジュール			
🔺 📉 ファイル アーカイブ設定			
	利用可能な設定	選択した設定	
📓 デスティネーション			
國 スケジュール		11997991設定 環境設定	
▲ 🔣 復旧ポイントのコピー			
📩 コピー設定			
🔺 🚰 環境設定			
💽 一般		~	
🧧 電子メール アラート			
▲ 🛃 設定のエクスポート/インオ			
🔽 インボート			
		インボート キャンセル ヘル	プ
インホートか完了	したら、設定内容を確認し	してくたさい。	
設定のインポート			
(1) エージェント設定が	正常にインボートされました		
	ОК		





5. ベアメタル復旧(※復旧メディアを使った仮想マシンの復旧)

ベアメタル復旧(BMR)とはベアメタル(まっさら)なハード ディスクヘシステムを復旧し、サーバを元通りに回復する 復旧手段です。UDP では OS やアプリケーションをインストールすることなく、バックアップ取得時とまったく同じ状態に システム全体を回復させることができます。

UDP はこのベアメタル復旧を標準機能として提供しています。

本章では、復旧メディアの作成方法や最も簡単な [高速モード] を使って、ローカルディスク或いは、共有フォルダに保存されているバックアップ イメージからベアメタル復旧を行う手順を説明します。

UDP はベアメタル復旧を行う際に WinPE ベースの復旧メディア (ISO イメージ イメージまたは USB メモリ)を使用します。

この復旧メディアには、ベアメタル復旧の実行に必要な情報がすべて含まれており、「ブートキットの作成」ウィザードを 使用して作成できます。

本資料では、Windows Server 2022 用の復旧メディア (ISO イメージ イメージ) を作成する方法について説明します。 ブートキットの作成ウィザードでは、必要なドライバを組み込んだメディアやドライバを組み込まない汎用的なメディアを 作成することが可能です。ドライバを組み込まない復旧メディアを利用した BMR 復旧でも、必要に応じて復旧中にドライ バを組み込むことができます。復旧メディアを作成するには Windows ADK (Windows アセスメント & デプロイメント キッ ト) または Windows AIK (Windows 自動インストール キット) をインストールする必要があります。インストールが必要な キットは復旧対象サーバの OS バージョンによって異なります。詳細は「5.1 復旧メディアの作成」を参照ください。





5.1 復旧用メディアの作成

本章では、ブートキットの作成ウィザード実行時に、Windows ADK をダウンロードし復旧メディアを作成する一連の 操作を記載します。

(UDP Agent がインターネットに接続できない環境の場合は、別のマシンを使って Windows ADK を事前にダウンロードしインストールする必要があります。)

(1) [ブートキットの作成] ウィザードの起動

Windows スタートメニューから、[Arcserve UDP ブートキットの作成] を選択してください。

≡	最近追加されたもの
	🚾 Arcserve UDP エージェント モニタ
	🔲 Arcserve UDP エージェント
	🩍 Arcserve UDP ブートキットの作成
	展開 ~
	A
	Arcserve 新規

[BMR ISO イメージ イメージの種類を指定]

復旧対象サーバの OS バージョンに応じて、[Windows 11]、[Windows 10] または [Windows 7] を選択し、[次 へ] をクリックします。 (本ガイドでは、[Windows 11 を選択しています。)

ペア メタル復旧用のブート キットの作成	×
BMR ISO イメージの種類を指定	
	.
この BMR ISO イメージは、Windows 11 用です。このオンジョンを使用して、Windows Server 2022 およひ Windows 11 の ソースに対して BMRを実行します。	
Microsoft から Windows 11 用の Windows ADK (Assessment and Deployment Kit) をダウンロードしてインストールする 必要があります。	
C Windows 10	
この BMR ISO イメージは、Windows 10 用です。このオブションを使用して、Windows 8/8.1、Server 2012/2012R2、 Windows 10、Windows Server 2016、および Windows Server 2019 のソースに対して BMR を実行します。 Microsoft から Windows 10 用の Windows ADK (Assessment and Deployment Kit) をダウンロードしてインストールする 必要があります。	
C Windows 7	
この BMR ISO イメージは Windows 7 用です。Microsoft から Windows 7 用の Windows AIK (Automated Installation Kit、自動インストール キット) をダウンロードし、インストールすることが必要です。	
このオプションを使用すると、より古いオペレーティング システムおよびハイパーバイザ (VMWare ESX 4、4.1、または Workstation 7 など) に対してよりよい後方互換性が提供されます。	
Arcserve UDP パージョン: 9.0 ビルド: 9.0.6084 ターパブ(H)	





(2) [Windows ADK または AIK 情報]

「ブートキット ウィザード」は、起動時にコンピュータをチェックし、Windows ADK (Windows アセスメント & デプロイメント キット) がインストールされていない場合は、[Windows ADK または AIK 情報]画面を表示しま す。

※Windows ADK または Windows AIK がインストール済みの環境は (4) へ進んでください。

本ガイドでは Windows ADK の場合を説明します。

画面下部の「<u>ここをクリックすると、</u>Windows 11 用 Windows ADK のダウンロード センターにアクセスできま す。」をクリックします

ベアメタル復旧用のブート キットの作成	×
Windows ADK または AIK 情報	
Windows 11 用の BMR ISO イメージを作成するには、このコンピュータに Microsoft のダウンロードをインストール: る必要があります。Windows 11 用の Windows ADK をダウンロードしてインストールしてください。	ţ
Windows 11 用の Windows ADK には、Windows 11、Windows Server 2022 のいずれかのオペレーティング システムが必要です。	1
BMR イメージを作成するには、以下の Windows ADK 機能が必要です。 - Deployment Tools - Windows Preinstallation Environment (Windows PE)	
<u>ここをクリックすると、</u> Windows 11 用 Windows ADK のダウンロード センターにアクセスできます。	
Arcserve UDP パーゴン: 90 ビルド: 9.0.6034 戻る(B) 次へ(N) キャンセル(C)	ヘルプ(H)

Widows ADK のダウンロード

※ Windows 10 バージョン 1809 以降、Windows プレインストール環境 (PE) はアセスメント & デプロイメント キット (ADK) とは別にリリースされるようになりました。 Windows PE を ADK のインストールに追加するに は、Windows ADK for Windows11 および、ADK 用の Windows PE アドオンをダウンロードします。

※ Windows 10 ベースの復旧メディアは、Windows 8 / 8.1、Windows Server 2012 / 2012R2、Windows 10、
 Windows Server 2016、Windows Server 2019 の復旧メディアとして利用できます。
 なお、Windows Server 2022 のベアメタル復旧では、ADK for Windows 2022 及び ADK for Windows 11 が
 必要です





<Windows ADK のインストール>

- [Windows ADK セットアッププログラムの実行]
 ダウンロードした adksetup.exe を選択してダブルクリック等で実行します。
 本シナリオでは、ADK for Windows Server 2022 をダウンロードしています。
- ② [場所の指定]

Windows ADK のインストール先フォルダを指定し [次へ] をクリックします。

劇 Windows アセスメント & デプロイメント キッ	v.F	- 0	\times
場所の指定			
● このコンピューターに Windows ア	セスメント & デプロイメント キット をインストールします		
インストール パス:			
C:¥Program Files (x86)¥Wind	dows Kits¥10¥	参照(W)]
ダウンロードパス: C:¥Users¥Administrator¥Do	wnloads¥Windows Kits¥10¥ADK	参照(W)]
推定必要ディスク領域:	1.5 GB		
利用できるディスク領域:	41.4 GB		
	3	Rへ(N) キャンセ	Jl∕(C)

③ [Windows キット プライバシー]

Windows キットの使用状況を匿名で Microsoft に送信するか設定します。ここでは [はい] のまま [次へ] をク リックします。(送信したくない場合は [いいえ] を選択してください。







⑤ [インストールを行う機能を選択してください]

ここでは、「Deployment Tools」を選択し、[インストール] をクリックします。







⑥ [Widows アセスメント & デプロイメント キットへようこそ]

表示を確認し、[閉じる] をクリックします。



以上で Windows ADK のインストールは完了です。





<ADK 用 Windows PE アドオンのインストール>

① [ADK 用 Windows PE アドオンのセットアッププログラムの実行]

ダウンロードした adkwinpesetup.exe を選択してダブルクリック等で実行します。

本シナリオでは、Windows 2022 用 ADK の Windows PE アドオン をダウンロードしています。

名前 个	更新日時 2021/05/08 23:20 2021/05/08 23:19	種類 ファイル フォルダー アプリケーション	サイズ 2,137 KB
名前 ^	更新日時	種類	サイズ
☐ Installers ₩ adkwinpesetup.exe	2021/05/08 23:23 2021/05/08 23:22	ファイル フォルダー アプリケーション	1,553 KB

2 [Specify Location]

Windows PE アドオンのインストール先フォルダを指定し、[Next] をクリックします。

劇 Windows アセスメント & デブロイメント キット Windows Preinstallation Environment アドオン	-		×
場所の指定			
● このコンピューターに Windows アセスメント & デプロイメント キット Windows Preinstallation Environme ストールします	nt アドオン	ソをイン	
インストール パス:			
C:¥Program Files (x86)¥Windows Kits¥10¥	参照	(W)	
* Windows キットの共通のインストール パスが使用されています			
○ 個別のコンピューターにインストールするために Windows アセスメント & デブロイメント キット Windows Pre Environment アドオン をダウンロードします ダウンロード パス:	installati	on	
C:¥Users¥Administrator¥Downloads¥Windows Kits¥10¥ADKWinPEAddons	参照	(W)	
推定必要ディスク領域: 3.6 GB 利用できるディスク領域: 41.2 GB			
次へ()	N)	キャンセル	۱C)




③ [Windows Kits Privacy]

Windows キットの使用状況を匿名で Microsoft に送信するか設定します。ここでは [Yes] のまま [Next] をク

リックします。(送信したくない場合は [No] を選択してください。

湯 Windows アセスメント & デプロイメント キット Windows Preinstallation Environment アドオン ー		×
Windows キット プライバシー		
Windows キットは、お客様が Microsoft プログラムをどのように使用されているか、および遭遇された一部の問題に関 析情報を収集します。これらの分析情報により、Microsoft は Windows および Windows Server の改善を推進し ケーションおよびデバイスドライバーの局望を向上させます。分析情報は、特定の構成でのアプリケーションとデバイスド に関する重要な信頼性とセキュリティの問題をすばやく特定して修正するのに役立ちます。たとえば、特定のバージョン ドライバーを使用してデバイスでハングするアプリケーションを特定できるため、アプリケーションはびデバイスドライバーの と協力して問題に対処できます。その結果、これらの問題のトラブルシューティングに関連して、ダウンタイムが短縮され、 削減され、生産性が向上します。プログラムへの参加は任意であり、最終的にはお客様のニーズをよりよく満たすための ウェアの改善になります。お客様が作成したコードやソフトウェアは収集されません。	する分 ^ 、アプリ シイパー Dビデオ こンダー コストが いソフト	
<u>Windows プログラムに関するご意見をお寄せください。</u>		
Microsoft が Windows キットの分析情報を収集できるようにしますか?		
 ● はい(Y) ○ いいえ(N) 		
* 現在 CEIP プログラムに参加しています。プログラムに参加すると、このコンピューターにインストールされているすべての Windov が対象になります。	vs キット	
プライパシーに関する声明	\sim	
戻る(B) 次へ(N)	キャンセ	ll(C)

(4) [License Agreement]

使用許諾を確認し、[Accept] をクリックします。

お Windows アセスメント & デブロイメントキット Windows Preinstallation Environment アドオン - □	×
使用許諾契約	
続行するには、この契約の条項に同意する必要があります。マイクロソフト ソフトウェア ライセンス条項に同意しない場合は、 [同 意しない] をクリックします。	
マイクロソフト ソフトウェア ライセンス条項	^
WINDOWS ASSESSMENT AND DEPLOYMENT KIT (ADK)	
本ライセンス条項は、お客様と Microsoft Corporation (または系列会社の中の1社)との契約を構成します。 本ライセンス条項は、上記の本ソフトウェア、およびマイクロリフトのサービスまたはフトウェア更新プログラム に適用されます (たた)、こわらのサービスまたは更新プログラムに新いい条項または追加除項が付買している 場合は、当該別途の条項が将来に向かって適用され、更新前のソフトウェアまたはサービスに関するお客様ま たはマイクロソフトの権利は変更されません)。本ライセンス条項を遵守することを条件として、お客様には以下 の権利が許諾されます。本ソフトウェアを使用することにより、お客様は本ライセンス条項に同意されたものとし ます。	
1. インストールと使用権。	
a. ADK o	
i. 本契約の条項を条件として、お客補ま、展開、保守およびシステム品質の評価、ならびに Windows サーバーの互換性のあるバージョンおよび Windows クライアント オペレーティング システム (サポー ト終了日前のもの)に依存するお客様のシステムとデバイスの評価を行う目的ご思し、ホントウェア の任意の部数の複製をお客様のデバイスにインストールして使用することができます。	
ii. Windows プレインストール環境。本ライセンス条項に従うことにより、お客様は、Windows オペレーティング システム ソフトウェアをインストールあよび復旧する目的で、Windows プレインストー ル環境をインストールして使用することができます。誤解を触けるため、本ライセンス条項において明示 的に許可されていないその他の目的(一般的なオペレーティング システム、シン クライアント、または	~
戻る(B) 同意する(A) 同意し	,ない(D)





(5) [Select the features you want to install]

「Windows Preinstallation Environment (Windows PE)」を選択し、[Install] をクリックします。



⑥ [Welcome to the Windows アセスメント&デプロイメントキット Windows]
 表示を確認し [Close] をクリックします。

Windows アセスメント & デブロイメントキット Windows Preinstallation Environment アドオン		×
Windows アセスメント & デプロイメント キット Windows Preinstallation Environment アドオン へようこそ		
	閉じる	(C)

以上で、Windows PE アドオンのインストールは完了です。





(3) [ブートキット方式の選択]

[ブート可能 BMR ISO イメージ イメージの作成] または [ブート可能 BMR USB メモリ] を選択し、[次へ] をク リックします。(本書では、[ブート可能 BMR ISO イメージ イメージの作成] を選択しています。

ベア メタル復旧用のブート キットの作成	>
ブートキット方式の選択	
○ ブート可能 BMR ISO イメージの作成	
〇 ブート可能 BMR USB メモリの作成	
ブート可能 ISO イメージまたは USB メモリを作成で	°きます。作成したら、BMR を実行するために使用できます。
BMR USB メモリを作成するオプションを選択した場 能であることを確認します。	昜合、USB メモリがコンピュ−タに用意されており、書き込み 可
Arcserve UDP バージョン: 9.0 ビルド: 9.0.6034	戻る(B) 次へ(N) キャンセル(C) ヘルブ(H)

(4) [プラットフォームとデスティネーションの選択]

[プラットフォームの指定] で復旧用メディアに含める BMR イメージのプラットフォームを選択します。今回は、 [x64 プラットフォーム用の BMR イメージ] を選択します。

※Windows 11 バージョン 22H2 の Windows ADK では、x86 のプラットフォーム非対応です。

ベア メタル復旧用のブート キットの作成	×
プラットフォームとデスティネーションの選択	
┌ ブラットフォームの指定	
I▼ x86 ブラットフォーム用の BMR イメージ	
▼ x64 ブラットフォーム用の BMR イメージ	
xoo x.cla xod フラインオームHTUD DMR 1 メージを主席できより。同方のオフラヨノを進死するこ、2 Jのフラインオームを1 つのイメージに統合できます。	
UEFI ファームウェア システムをブートするには、x64 ブラットフォーム用 BMR イメージを選択してください。	
「デスティネーションの指定」	
BMR ISO イメージを保存するための保存先フォルダを参照します:	
C:¥Users¥Administrator 参照	
注: BMR ISO イメージ ファイルを保存するには、デスティネーション フォルダに 1 GB 以上の空き容量が必要です。	
BMR ISO イメージの名前の入力:	
BMR_x86x64_w11_/(ージョン_9.0_ビルド_9.0.6034.ISO	
Arcserve UDP バージョン: 9.0 ビルド: 9.0.6034 戻る(B) 次へ(N) キャンセル(C) ヘルプ(H)	





[デスティネーションの指定] で、[BMR ISO イメージ イメージを保存するための保存先フォルダを参照します] および [BMR ISO イメージ イメージの名前の入力] でそれぞれを指定し、[次へ] をクリックします。

(5) [言語の選択]

デフォルトでは、[日本語] が選択されていますので、そのまま [次へ] をクリックします。

ベアメタル復旧用のブ	ートキットの作成			×
言語の選択				
以下の言語 語を選択で	落この BMR イメージに統合できます きます。	す。統合した場合、BI	ИR プロセスで GUI およびキーボードに対して 1 つJ	以上の言
注: 各言語 ださい。	の統合には時間がかかります。この〕	プロセスにかかる時間	を最小限に抑えるには、必要とする言語のみを違	【択してく
「言語を選	択してください:			
	英語	□ 韓国語		
	中国語 (簡体字)			
	中国語 (繁体字)			
	フランス語			
	ドイツ語			
	イタリア語			
	日本語			
	ポルトガル語 (ブラジル)			
	スペイン語		□ すべて選択	
Arcserve UDP バージョン: 9.0 ビルド: 9.0.6034		戻る	B) 次へ(N) キャンセル(C)	へルプ(H)

- (6) BMR ISO イメージイメージに ztCEdge 仮想マシンのドライバを組み込むため、ztCEdge 管理画面にて CD-ROM イメージをマウントします。
 - ① 「仮想マシン」⇒「該当の仮想マシン」を選択 ⇒ 「CD ドライブと USB デバイス」タブを選択 ⇒ 「virtio-win-0.1.xxx_rev_x」を選択し、「CD の挿入」ボタンをクリックします。

Stratus ztC Edge	192.168.2.62 IP: 192.168.2.62 アセットID: <u>z</u> バージョン: 2.3.2-324 エイリア;	<u>e-d-9859</u> 2名: ze-d-9869	τ∠(\$ 53
シ ステム i ダッシュボード	💷 仮想マシン		🔏 作印
,	状態 アクティビティ	保護	名前
- 基本設定	■ 停止	FT	WS2019-FT
	■ 停止	HA	WS2019-HA
アラートとログ	■ 停止	HA	MyVM
	✔ > 実行中	FT	WS2022-UDP
☞ サポート ログ	■ 停止	FT	WS2022-UDP_UEFI
リソース 目 物理マシン			
🏛 仮想マシン			
 ☆ ホリューム ● ネットワーク ● 仮想 CD 	WS2022-UDP ∠ ###		マン (1000) マン (1000)
	🕕 サマリ 🛛 🗋 説明 🕂 負荷分離	ಶ 🕆 ブート 🗟 ボリューム 🛑	ネットワーク ②/ま CD ドライブと USB デパイス 砂 モニタ
ライブラリ	CD-ROM (空)	CD の挿入 virtio-win-0.1.171	_rev_1 v
	(2) USB	USB デバイスの接続	~





② 下図の表示が出るので「はい」をクリックします。



③ 仮想マシンの操作に戻り、下図の画面の通り、挿入した CD が表示されていることを確認します。



- (7) [ドライバの指定]
 - ① [ドライバの追加]をクリックします。

※ztCEdge 仮想マシン用のドライバを2つ追加します。

1.イーサネットコントローラー 2.SCSI コントローラー

ベア メタ	ル復旧用のブートキッ	小の作成					×
ドライ	バの指定						
	追加のドライバをBI	MR ISO イメージ(に統合できます。紀	花合すると、BN	MR プロセスの起動時にロード	されます。	
	種類	メーカ	バージョン	プラット	パス		
	л П-риг	「ライバを会む(1)	1		ドライパの追加(A)	ドライバの削除(D)	
		21112800				() () () () () () () () () () () () () (
Arcsen バージョ ビルド: S	ve UDP ン: 9.0 9.0.6034			戻る	<u>B</u>) 作成(<u>R</u>)	キャンセル(<u>C</u>) ヘルプ(<u>H</u>)





② イーサネットコントローラドライバを追加します。

「(CD-ROM ドライブ):\NetKVM\w10\amd64」内の「netkVM」を選択し、「開く」

← → 、 ↑ , PC > CD F9/J (E) virtio-win-0.1.1 > NetKVM > w10 > amd64 、 び amd64/0 機需	聞く							×
空記 ● C ● C ● C ● D 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	$\leftarrow \rightarrow \checkmark \uparrow$. PC > CD \vec{F} F/ \vec{J} (E:) virtio-win-0.1.1 > NetKVM >	w10 → amd64	~	õ	amd64の検	穀		م
PC ③ 3D オブジェクト ④ netkom.inf ④ グウソロード ● デスクトップ ● ドキュメント ■ ビヴオ ■ ビヴオ ■ ビヴオ ■ CD ドライブ (E) viti ● キロメリト (E) viti ● キロメリト (E) viti ● オットワーク	整理 ▼					811 .	-	?
3D オブジェクト 4 グウンロード デスクトップ デスクトップ ドキュスント ジケッ ビウチャ ビウチャ ビウチャ ごクジック ビーカル ディスク (C Data (D2) CD ドライブ (E) viri デ ネットワーク アイルを(N): netkom.inf アイルを(N): netkom.inf アイルを(N): netkom.inf State bafamation Files (*.inf) エー・	■ PC ^ <u>冬前</u> ^	更新日時	種類	サイズ				
 ・ ダウンロード ・ デスクトップ ・ デスクトップ ・ ドキュンント ・ ビクテャ ・ エー ・ ブック ・ ・ ・	🧊 3D オブジェクト 📓 netkvm.inf	2019/04/12 20:54	セットアップ情報		16 KB			
 <i>i</i> 201-y y 7 <i>i</i> 1/2 1/2 1/2 <i>i</i> 1/2	↓ ダウンロード							
 ◎ ドキュメント ◎ ビグチャ ◎ ビグチャ ● ビデオ ♪ ミュージック □ ローカル ディスク (C □ Data (D2) ② CD ドライブ (E) virti ② ホットワーク * *<td>■ デスクトップ</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td>	■ デスクトップ							
 ビクチャ ビラオ ミュージック ローカル ディスク (C Data (Dk) ② CD ドライブ (E) virti ▲ ホットワーク 77イル-名(N): netkvm.inf Satup Information Files (".inf) ∨ Extra Particular Files (".inf) ∨ Extra Particular Files (".inf) ∨ 	📔 F==x/2/F							
■ ビデオ ♪ ミュージック ************************************	▶ ピクチャ							
♪ ミュージック ニ ローカル ディスク (C ■ Data (D) ④ CD ドライブ (E) vint ● キットワーク 7アイル名(N): netkvm.inf 7アイル名(N): netkvm.inf	📕 ಲೆಸಸ							
 □ - カル ディスク (C □ Data (D.) □ CD ドライブ (E) viri □ CD ドライブ (E) virit □ オットワーク 7アイル名(N): netkvm.inf ○ Satup Information Files (*.inf) □ BC(C) □ #2/2File 								
Data (D) CD ドライブ (E) vin CD ドライブ (E) vin CD ドライブ (E) vin オットワーク 7アイル名(N): nettorm.inf アイイル名(N): nettorm.inf Ec(co) またりとりに	🏪 ローカル ディスク (C							
	👝 Data (D:)							
	CD ドライブ (E:) vii							
	CD ドライブ (E:) virti							
ファイル名(N): netkym.inf く Saturp Information Files (*.inf) く 観マ(の) キャソセル	ネットワーク							
ファイル名(N): netkym.inf く Saturp Information Files (*.inf) く 観((の) キャソセル	·							
眼ぐ(の) キャンセル	ファイル名(N): netkvm.inf			~	Satup Info	mation Fi	les (*.inf)	\sim
Min ((0) (11) C/V					關<(O)		キャンセル	L

③ 続けて「ドライバの追加」をクリックします。

アメタル復旧用のブート	トキットの作成			
ドライバの指定				
追加のドライバ	を BMR ISO イメージ	こ統合できます。統	合すると、BI	MR プロセスの起動時にロードされます。
種類	X-л	バージョン	プラット	13
Net	NetKVM	04/12/2019	x64	E:¥NetKVM¥w10¥amd64¥ne
, 0-1	コル ドライバを含む(!)	1		ドライバの追加(<u>A</u>) ドライバの削除(<u>D</u>)
rcserve UDP				
11 1 9.0.6034			戻る	(B) 1作成(R) キャンセル(C) ヘルブ(H)





④ SCSI コントローラーのドライバを追加します。

「(CD-ROM ドライブ):\viostor\w10\amd64」内の「viostor」を選択し、「開く」をクリックします。

闌く					×
← → × ↑ 📙 > PC > CD ドライブ (E:) virtio-win-0.1.1 > vic	stor > w10 > amd64	~	ひ amd64の検	ā	Ą
整理 ▼					0
ダウンロード オ へ <u>名前</u> へ	更新日時	種類	サイズ		
iii ドキュメント 📌 🔬 viostor.inf	2019/04/13 0:35	セットアップ情報	3 KB		
 PC 3 aD オブジェクト ダウンロード デスクトップ デスクトップ ドキュメント ビウチャ ビデオ シニージック ローカル ディスク (C) Data (D;) CD ドライブ (E) vit 					
ファイル名(N): viostor.inf			V Setup Info	mation Files (*.in	f) ~
			關<(O)	キャン	ะม

⑤ 「作成」ボタンをクリックします。

ベア メタ	ル復旧用のブートキ	ットの作成				×
ドライ	バの指定					
	追加のドライバを E	BMR ISO イメージ	こ統合できます。統	合すると、BN	AR プロセスの起動時にロードされます。	
	種類	メーカ	バージョン	プラット	1(7	
	Net SCSIAdapter	NetKVM VioStor	04/12/2019	x64	E:¥NetKVM¥w10¥amd64¥ne	
	ScolAdapter	105(0)	04/12/2015	204		
	ローカル	ドライバを含む(!)			ドライバの追加(<u>A</u>) ドライバの削除(<u>D</u>)	
Arcsen バージョ	ve UDP ン: 9.0			戻る	B) 作成(R) キャンセル(C) ヘルブ(H)	
EN R S	9.0.6034					

(8) [ブート可能 BMR ISO イメージ イメージの作成]

BMR ISO イメージ イメージの作成が開始され、完了すると以下の画面が表示されます。[完了] をクリックしま





す

ベアメタル復旧月	用のブート キットの作成	×
ブート可能 BM	JRイメージの作成	
	ブート可能 BMR ISO イメージが正常に生成されました。	
	場所: C:¥Users¥Administrator¥BMR_x86x64_w11_バージョン_9.0_ビルド_9.0.6034.ISO	
	ブラットフォーム: x86 + x64	
	<u>ここをクリックすると、</u> 新しい BMR ISO イメージの場所にアクセスできます。	
Arcserve UDP バージョン: 9.0 ビルド: 9.0.6034	完了(F) キャンセル(C) ヘルプ(H)	

(9) ztCEdgeの管理画面へ戻り、接続した CD-ROM の接続を切断します。

```
「仮想マシン」⇒「該当の仮想マシン」を選択 ⇒ 「CD ドライブと USB デバイス」タブを選択 ⇒ 「CD の取
り外し」ボタンをクリックします。
```

Stratus ztC Edge	192.168.2.62 IP: 192.168.2.62 アセット ノバージョン: 2.3.2-324 エィ	ヽID: <u>ze-d-9859</u> イリアス名: ze-d-9859	システムは 正常です		
システム	📴 仮想マシン				7 11
S 57754	状態 アクティビティ	保護	名前		
◎- 基本設定	■ 停止	FT	VVS2019-FT		
	■ 停止	HA	WS2019-HA		
アラートをロク	■ 停止	HA	My∀M		
 <u>監査ログ </u> 	▲ ▶ 夷行中	FT	WS2022-UDP		
しょ サポート ログ	■ 停止	FT	WS2022-UDP_UEFI		
リソース 目 物理ファン 田 仮想ファン			_	_	
■ ボリューム ● ネットワーク ● 仮想 CD	WS2022-UDP ∠ 福集		🛃 🔍 📩 アコンソール 横成 リス <u>トア エク</u>	1 1) からブー
O INIL VI	🕕 サマリ 📄 説明 🐠 負	荷分飯 🔺 ブート 📑 ボリ	ユーム 🔲 ネットワーク 💽/🛊	CD ドライブとUSB デバイス	モニタ
ライブラリ 🔊 アップグレード キット	CD-ROM virtio-win-0.	1.171_rev_1 CD の取り出	1U		
↓下図のように	なることを確認				
CD の挿入			~		





- (10) 作成した BMR ISO イメージを ztCEdge の管理コンソールに登録します。
 - ① 「仮想 CD」を選択し、「VCD の作成」をクリックします。

🗖 🚺 ztC Edge 192.16	8.2.62 - 仮想 CD × 十			- 0 ×
← C ▲ セキュ	リティ保護なし 192.168.2.62/portal/#vcd	A" to	£= 🕀	🐮 ··· 🜔
Stratus ztC Edge	192.168.2.82 9 IF: 102.168.2.62 アセットID: <u>2e-0.4859</u> パージョン: 23.2-324 エイリアス备: 2e-d-0859		😯 日本語	admin ログアウト
システム i ダッシュボード	◎ 仮想 CD		6	VCD の作成
↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓	状態 削除可能 名前 ▲		サイズ	
◎ 基本設定	✓ () はい WS2022-ISO		5.3 GB	
			5.2 GB	
アラートとログ			4 MB	
↓ /フート履歴 □□ 配査ログ			356 MB	
			5.4 GB	
60 SAL 1 4 5			4.8 GB	
リソース ■ 物理マシン ■ 仮想マシン ■ 仮想マシン ■ ポリューム	WS2022-ISO ∠###			↓ ダウンロード 削除
ネットワーク	説明			日 保存
● 仮想 CD	ここに説明を入力します			
ライブラリ				

② 「VCD 名」を入力、BMR ISO イメージ イメージを保存した場所を「参照」から選択し、「完了」をクリックします







T T T C E d e a 10 2 16 2	2 2 6 2						_	П	×
	11= 24			~	~	G			
	9710	度なし 192.106.2.02/ponal/#vcu A*		10	2=	₩			
Stratus ztC Edge		192.168.2.62 IP: 192.168.2.62 アセットID: <u>zed-9859</u> ビニコーンのコンログレビア グレット (1): <u>zed-9859</u> ビニコーンのコンログレビア グレット			6	147-15			יעי
システム コグッシュポード		仮想 CD の作成ウィザード					୦୩	咸	?
 システム 基本設定 	状態	vcD 答 BMR_x86x64_w11_/(ージョン_5 ★							Û
アラートとログ <u> 身</u> アラート履歴 一 筒 監査ログ	w	 ISO ファイルをアップロード CD ISO をネットワーク ソースからコピー (例: http://build.stun.stratus.com/distro/windows/w2k3es/win2k3_R2_x86_32_SP2_PV_PAE.iss 	io):						•
	説	BMR_x86x64_w11ノ(ージョン_9.0_ピルド_9.0.6034.ISO (1 GB) 24% キャンセル	,	アップロ)— ド中.		וענ	- F	削除保存
リソース	Z	🐝 残り時間約1分です。							
 ☆ ホリューム ☆ ホリューム ● 仮想 CD 									
ライブラリ									
							-		
						完了			

③ VCD アップロード開始、アップロード完了したら、「完了」をクリックします。

④ 仮想 CD の一覧に登録されているか確認し、あれば BMR ISO イメージファイルのアップロードは完了で

す	0	

□ 2tC Edge 192.168.2.62 - 仮想 CD x + - □ ×											
← C ▲ セキュリティ保護なし 192.168.2.62/portal/#vcd A ¹ G G @ C … し											
Stratus ztC Edge	192.168.2.0 e IP: 192.168.2 バージョン: :	2 162 アセット ID: <u>ze-d-9859</u> 2.3.2-324 エイリアス名: ze-d-9859	0	システムは 正常です			\$	日本語	admin		ブアウト
システム ・ ダッシュボード	◎ 仮想 (D						0	VCD ന്ന്	成	
, システム	状態 削除可能	名前 ▲			サイズ						
◎ 基本設定	🖌 🚯 はい	BMR_x86x64_w11_ノ(ージョン_9.)	0_ビルド_9.0.	6034	1 GB						<u> </u>
7- 11-8	💉 🚺 はい	WS2022-ISO			5.3 GB						
アフートとロク	A (R) (+) \	Windows2019			5 2 GB						
 □ 監査ログ □ サポートログ 	BMR_x86x6 ビルド_9.0.0	i4_w11_バージョン_9. 6034 ⊻‱	0_						ダウンロ	۲ ۲–۲	X 削除
	説明										保存
リソース 目 物理マシン	ここに説明を入	りします									
 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・											
🗟 ボリューム											
ネットワーク											
● 极想 CD											
ライブラリ											
アップグレードキット											
102160262/1/#											





5.2 仮想マシン:ベアメタル復旧の実行(BIOS 仮想マシン)

UDP のブートキット作成ウィザードを使って作成した復旧メディアを復旧対象のサーバにセットし、起動すると Windows Boot Manager が立ち上がります。

作成した BMR ISO イメージ イメージを使って、ztCEdge 上の仮想マシンにセットおよび起動する方法については下記となります。

◆ゲスト OS のリストア前の確認事項は下記となります。

【事前実施事項】

・操作に関しては、ztCEdge 管理コンソールが操作できる管理端末から実施すること

・リストアするゲスト OS はシャットダウンの状態となっていること

・ztCEdge 管理コンソールにログインしている状態となっていること

・ztCEdge 管理コンソールに接続するブラウザのポップアップブロック機能を無効化しておくこと

(1) 左メニュー「仮想マシン」を選択し、中央の「仮想マシン」一覧にあるリストアする仮想マシンを選択し、 「CD からブート」をクリックします。

😆 🚺 ztC Edge 1	192.168.2.62 - 仮想マシメ +				~
	🔿 🔒 😅 https://192	.168.2.62/portal/#vm	☆	Q. 検索	♡ ⊡ ☆ ≕
					。 🚱 日本語 admin ログアウト
Stratus ztc Edge	192.168.2.62 IP:192.168.2.62 アセット パージョン:2.3.2.324 エイ	ID: <u>ze:d-9859</u> リアス名: ze:d-9859	システムは 正常です		
システム ・	🛄 仮想マシン			🔏 作成 👹 コピー	1×#-HU2F7
③ システム	秋態 アクティビティ	保護	名前	現行PM	
- 基本设定	■ 停止	FT	VVS2019-FT	- <u></u>	->
マラートとログ	■ 停止	HA	VVS2019-HA		
▲ アラート展歴	■ 停止	HA	MyVM		-
当 監査ログ	■ 停止	FT	WS2022-UDP]#
18 DW-1-00	■ 停止	FT	WS2022-UDP_UEFI	÷	->
リソース					
- 物理マシン					
● ネットワーク ⑦ 仮想 CD	WS2022-UDP ∠ ૠ∰		マコンソール 機成 リストア エクスポート ブートな	 	
ライブラリ	🚺 サマリ 🗋 説明 🐠 負額	汾敝 👚 ブート 📑 ボリ	ユーム 🛑 ネットワーク 🍥/🛊 OD ドライブとい	iB デバイス 💮 モニタ	
₩ <i>V9J9L</i> -F≠9F	オペレーティング シス デム 登島説明 登島説明 ブート インタフエース 儀式	VAL 外応 Windows Windows Server 2022 Standard i Mini MoS 個分配 CPU 08 仮思メモリ	Evaluation		

(2) 先ほどアップロードした BMR の仮想 CD を選択し、「ブート」をクリックします。







(3) CD ブートが開始されます。

🌢 🍯 210 Edge 192.169.262 - 仮想空 × 🕂								
$\leftarrow \rightarrow$ C \textcircled{a}	◯ 🔒 🚅 https://192.16	3.2.62/portal/#vm		☆	Q. 検索		ර ≐	
Stratus ztC Edge	192.168.2.62 IP: 192.168.2.02 アセットID: g パージョン: 2.32.324 エイリア	<u>e. d. 0850</u> Ref: ze-d. 0850	システムは 正常です			⊕ 日本語 admin	ログアウト	
システム 日 グルコーポード	💷 仮想マシン				🔏 作成 👹 コピー	🖄 インポート・リストア		
 (国) ラックシュルート (国) システム (国) 基本設定 	状態 アクティビティ ■ 停止	保護 FT	名前 WS2019-FT		現行 PM +↓+ 	-		
アラートとログ 🌲 アラート履歴	 ● 停止 ● 停止 	HA	WS2019-HA MyVM		** *****			
 監査ログ 受サポート ログ 	 停止 停止 	FT	VVS2022-UDP VVS2022-UDP_UEFI					
リソース ● 使見であ> ● 使見であ> ● 使見であ> ● なりたック ● 反説なの ライブラリ ● アップグレードキット	WS2022-UDP ノww の サマリ 2 説明 単 角的が オペレーティング 3ス WM 起動タイプ 日期 プート・インダフェース BIS 単成 4 年 一般式 4 年	**WS2022-UDF ブート中 ゴート中 ゴートー (回 #0/3 ガび Windows Wrd Server 2022 Standard E が成都 く年り	**を CD からブート 思しる ミーム ④ ネットワーク ④/∲ OD ドライ reluation	ブを USB ラ	2010 00703-1- 新日 9740 2010 00703-1- 新日 9740 77(1ス ② モニタ	2 0 280459 - Strot-Soot		

(4) 新しいタブが開きます

※ブラウザのポップアップブロックで表示されない場合は、ztCEdge 管理コンソールから、「コンソール」を クリックし、ウィンドウを開きます







(5) 「Press any key to boot from CD or DVD」の表示がされたら「スペース」等のキーを押します。※画面の切り替えが早いため注意、切り替えできなかった場合には、



※事前に ESC ボタンを押し、下図から「1」を選択する方法でも、問題ありません。





Rev:1.0





(6) [Windows Boot Manager]

復旧対象サーバのアーキテクチャー(x86/x64)を選択し、Enter キーを押すと、BMR(ベアメタル復旧)ウィザード が起動します。デフォルトでは 30 秒で x64 が自動選択されます。



※ <u>5.1-(4)</u>の手順で1つだけ選択した場合は、上記画面は表示されません。



(7) [キーボード レイアウト]の選択

[日本語]を選択し、[Next] をクリックします。

arcserve [®] bare metal recovery					
日本語					
English					
キーボード レイアウト:					
日本語~					
Next					





(8) [ベア メタル復旧 (BMR) - BMR のバックアップの種類の選択]

[Arcserve Unified Data Protection のバックアップからリストアします] が選択されていることを確認し、[次へ] をクリックします。

Kアメシル第旧 (BMR) - 8MR のパックアップの機構の現状		
リストア ソースの 種類を 選択する:		
④ Arcserve Unified Data Protectionのパタジアダプからリストアする このオプションを使用して、パウプラブ先ブルがまたはダータストアがらリストアを実行します。		
○ 仮想マシンから回復 このオブッシンを使用して、伝想スタンバイまたはインスタント VM によって作成をれた伝想マシンから VPP (伝想から物理) リストアを発行します。		
 リースは HiperーV マシンにあります 		
▲ ユーラィリティ(U) 戻る(E)	沐∧₪	中止(A)

ローカル ディスクにバックアップが保存されている環境では、UDP は自動的にバックアップ先を検出するため、以降の (9) から (12) の操作は不要です。適切なバックアップデータを選択の上、(13) に進みます。DHCP で IP アドレスを取得している環境では以降の (10) から (11) の操作は不要です。(12) に進みます。

(9) [ベア メタル復旧 (BMR) - バックアップの先の検出]

共有フォルダまたは復旧ポイント サーバのバックアップ先を参照するため、先にネットワークの設定を行います。ここでは バックアップ先の検出は [キャンセル] をクリックして中止します。

arcserve MR	METAL RECOVERY		
ペアメタル復旧 (BMR) <i>- 復田ポイントを選択します</i>	以下のパックアップ済みマシンが快出されました:		
上部ペインには、まべてのバックアップ済みマシンとバックアッ フ先が表示されます。マシンをクリックすると、下部ペインに 開達する復日ポイントが表示されます。読行するには、復 日ポイントを選択してください。	UDP-AGENT	- バッウアップ修載 ホスト名:	UDP-AGENT
注デフォルトでは、ローカル・ボリュームがら快出されたパッ ケッジ済みマシンのみがここにリストとれます。新しいリ ムーパブルディスクを接続または接続解除した後、巨新 をうりのするとマシンリストを更新することができます。 また、「参照」をついつすると、リモート共有フォルダまたは		OS: DNS サフィックス:	Windows Server 2022 X64
データ ストアからパックアップ済み マシンを追加することもで きます。		ソース:	ネットワーク/ローカル パス
リモート共有フルジモを類すさない必要、ハロ (ライバ)や くなわーいたくていない、アフドン(2018)とついる可 転信がわらす、必要な場合では、以下を発行できます。 に含わいかえると、 ドライバロンド・ローテイバチを活動 します こをかいかえると、ラインワーク激変ユーティッチを活動 します		王	新度) 参照(y) -
Intel形) 92574L Gitsbit Network Connection ードアドレス: 1058174137 ーステータス: 操作読者 Intel形) 92574L Gitsbit Network Connection #2 ードアドレス: 1059174134 ーステータス: 操作読者		- BIOS <i>パックアップされたがLaーム(使用</i>) - システムで予約済み(33 MB/10C - C※(117 GB/79.29 GB/2255 - トロロトの時間	<i>サイズ/合計サイズ/ 応支な数小サイズ): MB/43 MB) GB) 、</i>
▲ ユーティリティ(ル) バーブョン 9.0.6034; ブート ファームウェア: BIOS		戻	58 次へM 中止(A)





(10) [ベア メタル復旧 (BMR) - ネットワーク設定]

[ユーティリティ]メニューから、[ネットワークの設定]をクリックします。



(11) [ネットワークの設定]

ネットワークの設定を行い、[OK] をクリックします。必要に応じて、デフォルトゲートウェイや DNS サーバの設定を行ってください。必要に応じて、デフォルト ゲートウェイや DNS サーバの設定を行ってください。

ネットワークの設定	
ネットワーク アダプタの選択および設定:	
🗻 Intel(R) 82574L Gigabit Network Conne	ction v 更新(R)
 ○ IP アドレスを自動的に取得する ● 次の IP アドレスを使用する: 	
IP ፖቮレス:	192 . 168 . 238 . 1
サブネット マスク:	255 . 255 . 255 . 0
デフォルト ゲートウェイ:	192 . 168 . 238 . 2
○ DNS サーバを自動的に取得する	
● 次の DNS サーバ アドレスを使用する:	
優先 DNS サーパ:	192 . 168 . 238 . 2
代替 DNS サーパ:	· · ·
接続ステータス	
ステータ 速度:	ス: 接続済み 1 000 Mbps
ок	キャンセル 適用(A)

(12) [ベア メタル復旧 (BMR) - 復旧ポイントを選択します]

以下に、共有フォルダと復旧ポイントサーバから BMR を実行する 2 つの方法を記載しています。 手順 A: 共有フォルダのバックアップデータからベアメタル復旧する方法

共有フォルダ・NAS上のバックアップイメージからベアメタル復旧を行うには、[参照] - [ネットワーク/ローカル パスから参照] をクリックします。





パックアップ情報	
ホスト名:	
OS:	
DNS サフィックス:	
V-7·	
- ~~	
更新	所(R) ▼
	ネットワーク/ローカル パスから参照
	復日ポイントサーバ から参照
1 つ選択した後、統行してください:	

② [フォルダの選択]

バックアップ先の共有フォルダを \\ で始まる UNC パスで直接 [探す場所] に入力し、⇔アイコンをクリック します。

フォルダの選択	X
探す場所: 🚘 ¥¥192168.238.1¥share 🗸 🏹 🏫 (ローカルドライブを選択するが、リモート共有パスをここに入力してください。)	

③ [Windows セキュリティ]

NAS・共有フォルダへ接続するためのアカウント情報を入力し[OK]をクリックします。

Windows セキュリティ	X
次の接続先に使用するユーザ名およびパスワードを入力してください: ¥¥192.168.238.1¥share	
 ユーザ名:	
パスワード	
ユーザ名の形式: <マシン名またはドメイン名>¥<ユーザ名>	
OK キャン	セル

④ [フォルダの選択]

復旧対象のサーバ名のフォルダを選択し、[OK]をクリックします。バックアップ先フォルダ内の復旧するサ ーバ名のフォルダを指定します。







フォルダの選択		1	X
探す場所: 🚺 (ローカル)	¥¥192.168.238.1¥share そうイブを選択するが、リモート共有	「パスをここに入力してください。)	
名前 win-sgt	サイズ	更新日時 2023/01/1510:03:14	
フォルダ パス:	¥¥192.168.238.1¥share		ОК キャンセル

⑤ [ベア メタル復旧 (BMR)] - 復旧ポイントを選択し [次へ] をクリックします。

arcserve 🗰	METAL RECOVERY		
ペアメシル後旧 (BMR) <i>- 佐田ポイントを選択します</i>	以下のパックアップ済みマシンが検出されました		
上部ペインには、すべてのパックアップ済みマシンとパックアッ プ先抄表示とれます。マシンをクリックすると、下部ペインに 関連する復旧ポイントが表示されます。統行するには、復 旧ポイントを選択してください。	🗑 win-act	パックアップ情報 ホスト名:	win-set
注デフォルトでは、ローカル ポリュームから特出されたパッ クラップ済みマシンのみがここだりストされます。新しいリ ムーパブル ディスクを接続また仕様技解除した後、原新1 をりいかするとマシン リストを更新することができます。 また、(参照)をりいかすると、リモート共有フォルダ本たは		05: DNS サブィックス:	Windows Server 2016 X64
ゲータ ストアからパックアップ済み マシンを追加することもで きます。		y - z:	ネットワーク/ローカル パス
UF-トは着うスルグを参照できない場合、ND でやイバが インストールドイバムが、ルドアレルス増増さている可 粘性外をDます、出来な場合には、以下を使行できます。 <u>ここをクリンクすると</u> 、ドライバのロードユーティリディを超動 します します	指定したマシンに以下の復旧ポイントが快出さ	れました。後旧ポイントを! う選択した後、統行してくだだい:	更新® ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●
	□: ¹ / ₂ 2023/01 / 18 □: ¹ / ₂ 10.0418	AR ステータス: - - フル パックアップの逆線: - フル パックアップ パックアップタス (現在のシステムム - **19 321 633 1*がare *****- パックアップの送明:	へ ゆ ら夜 助):
1 個のネットワーク アダプタが快出されました		- カメヨマイスをれた暗分15079 プート ファームウェア:	,
umonet3 Ethernet Adapter - IF アドレス192169238130 - ステータス:線統済み		- EIGS パワクァンされたポジューム(彼 - システルで予わ時帯の(375 Me) - ひは(2512 GB/65000 GB/30 - Dは(1542 GB/6201 BB/350 - Pは(101 Me//5000 GB/301 - Pは(101 Me//5000 GB/301	<i>開サイズ/ 合計サイズ/ 各集な最小サイズ)</i> 500 MB/500 MB) 27 GB) 48) 「GR1」 V
 ユーディリティ(U) 			戻る(8) 次へ(1) 中止(8)
パージョン 9.0.6034; ブート ファームウェア: BIOS			





Rev:1.0

手順 B: 復旧ポイントサーバのバックアップデータからベアメタル復旧する方法

復旧ポイントサーバの構築手順については、別紙の「Arcserve Unified Data Protection 9.x 環境構築ガイド – コン ソール + 復旧ポイントサーバ – (フル コンポーネント) インストール 編」をご確認ください。

① [バックアップ情報]

ネットワークの設定後、[参照] - [復旧ポイントサーバから参照]をクリックします。

パックアップ情報	
赤スト名:	
os:	
DNS サフィックス:	
א-א:	
更新®	参照(₩) ▼
	ネットワーク/ローカル パスから参照
1 つ選択した後、統行してください:	御日ポイントサーバ から参照

② [ノードの選択]

復旧ポイントサーバの名前解決ができない場合は、ホスト名に IP アドレスを入力します。ユーザ名とパスワ ードを入力後、[接続]をクリックしデータストア接続します。接続したデータストアを展開し対象ノードのホ スト名を選択し[OK]をクリックします。

ノードの選択				×
復旧ポイントサーバ ます。	、認証情報を入力し、[接続] ボタンをクリックして	サーバに接続し、	. データ ストアおよび,	ノードリストを取得し
木スト名:	192.168.237.128 ~	ポート:	8014	
ユーザ名:	administrator	לם/ביות:	Онттр	● HTTPS
パスワード:	•••••		接続	5
このサーバで保護さ	されているデータ ストアおよびノード:			
	re 2k22-agt			
	=			
ハックアップ方しに接触	えししいより			
			OK(O)	キャンセル(C)





③ [復旧ポイントの確認]

ソースが復旧ポイントサーバとなり、復旧ポイントを確認したら [次へ] をクリックします。

arcserve [®] MRE	METAL RECOVERY		
ペア メタル復旧 (BMR) <i>ー 旋田ポイントを運択します</i>	以下のパックアップ済みマシンが検出されました:		
上都べインには、すべてのバックアップ済みマシンとバックアッ フ先が表示されます。マシンをクリックすると、下部ペインに 関連する復旧ポイントが表示されます。続行するには、復 旧ポイントを選択してください。	🖥 win-aşt	パックアップ情報 ホスト名:	win-așt
注:デフォルトでは、ローカル ボリュームから検出をれたパッ ケアップ済み マシンのみ がここにリストされます。新しいリ ムーパブル ディスクを接続または接続朝鮮した後、【更新】 そりいかす オンマン・リストを更新することができます。		05: DNS サフィックス:	Windows Server 2016 X64
また、「参照]をクリックすると、リモート共有フォルダまたは データ ストアからバックアップ済み マシンを追加することもで きます。		א-א:	復日ポイントサーバ
リモード其有フォルダを参称できない場合、ND ドライバが インストールを行いないか、ドラアルスが醸造っている可 能性があります。必要な場合では、以下を実行できます。 こ <u>をうり少りすると、</u> ドライバのロードューティリティを起動 します こます。 します		取日ポイントを1 つ選択した後、統行してください	更新(6) ◆ ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●
	E 2023/01/24 E € 1881044	AR ステータス: - - パックアップの硬値: - フル パックアップ先 (現在のシステイ - 復日ポイントサーバ 5 ペッス スト - 復日ポイントサーバ 5 ペッス スト	へ (から使任): 11.28 1.128
え 1 個のネットワーク アダプタが検出されました		- ノード ID: 3e0sc和0-cc6f+47 パックアップの説明: - カスタマイズをれた増分パックア	790-sces-c3cee9965166
Intelf(7) 82574L Gigabit Network Connection - IP アドレス: 192,168,1,130 - ステータス: 線統済み		ブート ファームウェア: - BIOS パックアップされたボリューム (4 - シスチムで予約済み(375 M	<i>使用サイズ/会計サイズ/ 動薬な最かサイズ):</i> B/500 MB/500 MB)
▲ ユーディリティ(1)			戻る(B) 次へ(b) 中止(A)

(13) [ベアメタル復旧 (BMR) - 復旧モードの選択]

復旧モードを選択し、[次へ] をクリックします。本ガイドでは [高速モード] を選択しますが、復旧先のマシン に複数ディスクがある場合は [拡張モード] を選択して、リストア対象のボリュームが意図したディスクに割り 当てられているかをご確認ください。[拡張モード]を利用するとディスクの構成/サイズを変更できます。

arcserve [®] MR	E METAL REGOVERY
ペアメタル復旧 (BMR) - <i>復日モードの黒駅</i>	
<i>¥</i>	(1)日モードを選択する
	◎ 局速モード(E) 高速モードでは、マシンのダフォルト設定を使用し、ユーザの操作を最小限に算えてシステムを自動的に復旧できます。
	○ <u>仏教化すて下(10)</u> 紅張モードPEDIAト793種物力及でイズできます。このモードを使用すると、以下を実行できます。 ページのが ポローム体化20イヤネの デイフ上のデータ Vスト7先を遵循する。 再起動する町に、デバイス IP イバをインストールする。
	● 注いたべきからがまた、BMRへのパードは、ソースマシンに広告を書い、チャロンと、数する、新しい、 リートウルンジボナオペキ・コンシンにに解したす、そのも、プスマネーションマシン上の医符のパーティシ コンが接張され、新しいパーティションが作成される場合があります。
▲ ユーティリティ())	反3回 次へ回 中止(4)
パージョン 9.0.6034; ブート ファームウェア: BIOS	







[次へ] 進めると、ディスク情報が削除されます。[はい] をクリックし、BMR を継続します。

BMR	5	x
?	次のステップでマシン上のデータがすべて失われる可能性があります。統行してよろ しいですか?	
	はい(Y) いいえ(N)	

(14) [リストア設定のサマリ]

復旧対象のドライブを確認し、[OK]をクリックします。

リストア設定のサマリ		
ディスク リストア設定のサマリ:		
ソース ディスク	デスティネーション ディスク	
ディスケノポリューム リストア設定のサマリ:		
ソース ポリューム	デスティネーション ボリューム	ディスク
(1)システムで予約済み (500 MB)	C:¥ (500 MB)	ディスク 0
🝈 C:¥ (60.00 GB)	F:¥ (60.00 GB)	ディスク 0
	D:¥ (1021 MB)	ディスク 1
(60.00 GB)	E:¥ (60.00 GB)	ምィスク 2
リストア設定を確認し、[OK]をクリックして統行	します。リストア設定を手動で調整する場合は、「*	キャンセル]をクリックしてください。
	r	OK キャンセル

- [リストア設定のサマリ] 画面の下部にある「デスティネーション ボリューム」列に表示されるドライブ文字は、Windows プレインストール環境(WinPE)から自動的に生成されているため、「ソース ボリューム」列に表示されるドライブ文字とは異なる場合があります。ドライブ文字が異なっている場合でも、データは問題なく適切なボリュームにリストアされます。
- [OK] をクリックするとベアメタル復旧が開始しますので、設定が適切でない場合には [キャンセル] をクリ ックし、設定をやり直してください。

(15) [ベア メタル復旧 (BMR) - リストア プロセスの開始]

リストアが開始されます。復旧が終わると、システムは自動で再起動されます。再起動後、サーバにログイン

しシステムが正常に復旧していることを確認します

このシステムを自動的に再起動するには、[再起動] をクリックします。BMR ログ ファイルをすべて収 集する場合、アクティビティ ログ ユーティリティを使用できます。 <u>ここをクリックすると、</u> アクティビティ ログ ユーティリティを起動します。					
システムが再起動するまで、あと 9秒。					
再起動®) キャンセル(C)					
プート ボリュームが現在のデスティネーション ディスク O にリストアされました。このデ イスクからシステムを起動してください。					





(16) 次の手順の画面になるまで待機します。



(17) 「ESC」ボタンをクリックします。



(18) 「2」ボタンを押して Disk を指定します。 ※この操作はリストア直後の初回のみです







(19) OS が起動します



- ※ 高速モードで BMR した場合、デフォルトでは再起動後、UDP エージェントサービスは、自動起動しません。これは、サーバやアプリケーションの動作確認中に意図しない、スケジュールバックアップを動作させないためです。サーバやアプリケーションの動作を確認後、OS のサービスの設定から「Arcserve UDP エージェントサービス」のプロパティの設定を変更しバックアップ運用を再開してください。
 - スタートアップの種類を[手動]→[自動]
 - サービスの状態:[開始]をクリック

(ローカルコ	コンピューター	-) Arcsen	ve UDP エージ	ジェント サー	ビスのブ	'บパティ		×	1
全般	ログオン	回復	依存関係						
サービス	(名:	CAS	AD2DWebSv	c					
表示名	:	Arcs	erve UDP I	-ジェント !	ナービス				
説明:		Arc	serve UDP I	ージェント	用の We	eb サービスを	提供します。	< _ <	
実行フ "C:¥Pr	ァイルのパフ ogram Fil	र: es¥Arcse	rve¥Unified	Data Prot	tection	€Common¥	Tomcat¥bin	¥ton	
スタート 種類(E	·アップの :):	手動))(遅延開始)					~	
サービス	(の状態:	□ ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●) 〕 平						
	開始(S)		停止(T)		·時停止	(P)	再開(R)		
ここでサ	トービスを開	始するとき	に適用する開	開始パラメ-	ターを指	定してくださ	J,o		
開始/(ラメーター(1	VI): [
				OK		キャンセル	適用	 用(A)	





5.3 仮想マシン:ベアメタル復旧の実行(UEFI 仮想マシン)

UDP のブートキット作成ウィザードを使って作成した復旧メディアを復旧対象のサーバにセットし、起動すると Windows Boot Manager が立ち上がります。

作成した BMR ISO イメージ イメージを使って、ztCEdge 上の仮想マシンにセットおよび起動する方法については下記となります。

◆ゲスト OS のリストア前の確認事項は下記となります。

【事前実施事項】

・操作に関しては、ztCEdge 管理コンソールが操作できる管理端末から実施すること

・リストアするゲスト OS はシャットダウンの状態となっていること

・ztCEdge 管理コンソールにログインしている状態となっていること

・ztCEdge 管理コンソールに接続するブラウザのポップアップブロック機能を無効化しておくこと

(1) 左メニュー「仮想マシン」を選択し、中央の「仮想マシン」一覧にあるリストアする仮想マシンを選択し、 「CD からブート」をクリックします。

🖕 🚺 ztC Edge 1	92.168.2.62 - 仮想マシ× +					~	
← → C @	🔿 🔒 🛋 https://192.168.2	2.62/portal/#vm		☆ Q 検索			മ≡
Stratus z10 Edge	192.168.2.62 : IP: 102.108.2.02 アセット ID: <u>24-</u> パージョン: 2.3.2.324 エイリアス	<u>49859</u> 8: z≥-4-6959	マテムは 常です	1		ў 日本譜 admin	ログアウト
システム	💷 仮想マシン				🔏 作成 😻 コピー	📩 インポート・リストア	1 🕜
S 2774	状態 アクティビティ	保護	名前		現行PM		
- 基本設定	■ 停止	FT	WS2019-FT				
アラートとログ	■ 停止	HA	WS2019-HA				
▲ アラート履歴	■ 停止	HA	My∿M		- <u>`</u>		
監査ログ マリーマー マリー マリーマー マリーマー マリーマー マリーマー マリーマー マリー マリー マリーマー マリー マリ マリー マリー マリー マリー マリ マリー マリ マリ マリー マリ マリ	■ 停止	FT	WS2022-UDP			-	
08 01K-1-000	■ 停止	FT	WS2022-UDP_UEFI				
リソース 目 物理マシン 回 夜想マシン				_			
▲ ボリューム ● ネットワーク ● 仮想 CD	WS2022∠≋≉		📃 🔍 📩 🖆	オート ブートの強利 起動 CD 力	 () () () () () () () () () () () () () (() シ 取通オフ
	📵 サマリ 📝 説明 📲 負荷分敷	🁚 ブート 🛃 ポリューム	●ネットワーク ◎/? OD	ドライブと USB デバイス 💮 モニ	9		
フイノフリ	状態名前	ディスクの同期		サイズ ブート可能	アクション		
	VIS2022-UDP UEFI dote1		17	50 GB (JU)	え、ポリュームの転属		_

(2) 先ほどアップロードした BMR の仮想 CD を選択し、「ブート」をクリックします。







(3) CD ブートが開始されます。

🌢 [ztC Edge 1	192.168.2.62 - 仮想マシ× +						~	
	O A == https://192.168.2.6	2/portal/#vm		☆ O	、検索			ວ ຽ ≡
Stratus ztc Edge	192.168.2.62 19: 192.169.2.62 アセット10: <u>20.4.9</u> パージョン: 2.3.2.824 エイリアス名:	1592 ce-d-9859	F/JJI# Col				😧 日本語 📔 admi	n ログアウト
システム	💷 仮想マシン				× 0	ಪ 👹 ೨೮–	🖄 インポートリス	r 7 ?
システム	秋眼 アクティビティ	保護	名前			現行PM		
	■ 停止	FT	WS2019-FT					
マラートとログ	■ 停止	HA	WS2019-HA					
▲ アラート風感	■ 停止	HA	My∨M				>	
 	● 停止	FT	WS2022-UDP				÷>	
しき サポートロク	■ 傍止	FT	WS2022-UCP_UEFI	1111111	0000000		->	01110
 ● 健立マシン ● (ホリマシン ● (ホリマン) ● (ホリマ	WS2022 2 we ● サマリ 注 説用 使 角帯分数 せた	■WS2022-UDP_UEFF ブート中 ディスクの原則 ■UIIII ■100% 形了 ■UIIII ■100% 形了	& cd #57-ト Поса	9 개조 100 08 50 08	280 coからゴート ス ※ モニタ ブート可能 アク ほい 低! いいえ 重!	 ・ 新潟 デバイ ・ デバイ ・ ・ ・ ・	2005491 3491	900 #ER70

(4) 新しいタブが開きます

※ブラウザのポップアップブロックで表示されない場合は、ztCEdge 管理コンソールから、「コンソール」を クリックし、ウィンドウを開きます。







(5) 「Press any key to boot from CD or DVD」の表示がされたら「スペース」等のキーを押します。
 ※画面の切り替えが早いため注意、切り替えできなかった場合には、下記補足を参照ください。



- ※【補足:画面切り替えが間に合わず、BMR でブートできなかった場合】
 - ① 「exit」を入力し、「Enter」を押してください。







② 「Boot Manager」を選択します



③ 赤枠部分を選択し、「Enter」を押します。

Boot Manager	
Boot Manager Menu JEFI QEMU DUD-ROM QM000004 EFI Internal Shell UEFI Floppy UEFI Floppy 2 UEFI QEMU DUD-ROM QM00003 UEFI Misc Device UEFI Misc Device 2 UEFI Misc Device 2 UEFI PXEv4 (MAC:00E009AB4305) UEFI HTTPv4 (MAC:00E009AB4305) Use the <1> and <1> keys to choose a boot option, the <enter> key to select a boot option, and the</enter>	Device Path : PciRoot(0x0)/Pci(0x1.0 x1)/Ata(Secondary,Slav e.0x0)
↑↓=Move Highlight <enter>=Select Entry Esc</enter>	=Exit





4 「Press any key to boot from CD or DVD」の表示がされたら「スペース」等のキーを押す



(6) メディアロード開始(数分待機します)

Loading fil	es		

(7) [キーボード レイアウト]の選択

[日本語]を選択し、[Next] をクリックします。

arcserve [®] bare metal recovery
日本語 English
キーボード レイアウト:
日本語 ~

(8) [ベア メタル復旧 (BMR) - BMR のバックアップの種類の選択]

[Arcserve Unified Data Protection のバックアップからリストアします] が選択されていることを確認し、[次へ] をクリックします。

Grcserve " Bare Metal Recovery	
ペア メシル波[Li (BMR) - BMR のパックアップの確頼の選択	
リストア ソースの種類を選択する:	
● Arcserve Onined Data Protection のパワジアランボウラストア 9 る このオブションを使用して、パックアップ洗フォルダ本会はデータ ストアからリストアを実行します。	
このオブションを使用して、仮想スタンパイまたはインスタント VM によって作成された仮想マシンから VQP (仮想から物理)リストアを 行します	*
○ ソースは VMMware のマシンにある	
〇 ソースは HyperーV マシンにあります	
▲ ユーディリティ(U) 戻る(E)	次へ(N) 中止(A)
パージョン 9.0.6034; ブート ファームウェア: BIO5	





ローカル ディスクにバックアップが保存されている環境では、UDP は自動的にバックアップ先を検出するため、以降の (9) から (12) の操作は不要です。適切なバックアップデータを選択の上、(13) に進みます。DHCP で IP アドレスを取得している環境では以降の (10) から (11) の操作は不要です。(12) に進みます。

(9) [ベア メタル復旧 (BMR) - バックアップの先の検出]

共有フォルダまたは復旧ポイント サーバのバックアップ先を参照するため、先にネットワークの設定を行いま す。ここでは バックアップ先の検出は [キャンセル] をクリックして中止します。

arcserve 🔤	METAL RECOVERY		
ペアメタル復旧 (BMR) <i>- 旋田ポイントを選択します</i>	以下のパックアップ済みマシンが検出されました。		
上部ペインには、まべてのバックアップ済みマシンとバックアッ フ先が表示たれます。マシンをクリックすると、下部ペインに 間違する復日ポイントが表示たれます。読行するには、復 旧ポイントを選択してください。	UDP-AGENT	- パックアップ情報 ホスト名:	UDP-AGENT
注デフォルトでは、ローカル ポリュームがら快出されたパッ ケッジ済みマシンのみがここにリストをれます。新しいリ ムーパイル ディスクを接続または接続解除した後、(更新) をりいりす まだマシン リストを変新することができます。 また、(参照)をりいりすると、リモートス有フォルダまたは ユート ロールモン パルーンのことにおいてマントマ		OS: DNS サフィックス:	Windows Server 2022 X64
シュイバアからのアプラ相応でもしましたしていた きます。 リモートは言うかがを発展できない。それ、DEでしたが インストームをしていないか、IPフドレスが描述っている可 酸性があります。必要な最合には、以下を実行できます。 こころシリングすると、 ドライバのロードユーティリティを認動 します こころシリングすると、キャワーク協定ユーティリティを認動 します。	パックアップ先を検出しています。お待ちください。 指定したマランには		2514000000000000000000000000000000000000
	E 2022/07/18	AR ステータス: - - パワクアップの連載: - フル パックァップ パワクアップル (現在のシ, - DMLOP-AGENTW パワクアップの説明: - カスタマイズをれた場分パ	へ ステムから使力): 29797
2 都のネットワーク アダプラが検出されました ▲ Intel까)?02734. Gradi Network. Connection ード アドルン: 1058174137 ースナーネン: 撤抗済合 Intel™)26374. Gradi Network. Connection #2 ード アドルン: 1058174134 マーステータン: 換批済合		ブート ファームウェア: - BIOS バックアップされたおりユー - システムで予約演み (3: - C端 (1717 GB/79.29) トポーティの読用	ム (使用サイズ/会計サイズ/参要な最小サイズ): ME/100 ME/43 MB) BE/1235 GB) ×
▲ ユーティリティ(J)			戻る個 次へ11 中止(A)

(10) [ベア メタル復旧 (BMR) - ネットワーク設定]

[ユーティリティ]メニューから、[ネットワークの設定]をクリックします。



(11) [ネットワークの設定]

ネットワークの設定を行い、[OK] をクリックします。必要に応じて、デフォルトゲートウェイや DNS サーバ





の設定を行ってください。必要に応じて、デフォルト ゲートウェイや DNS サーバの設定を行ってください。

ネットワークの設定	
ネットワーク アダプタの選択および設定:	
📗 Intel(R) 82574L Gigabit Network Conne	ection 🗸 更新(R)
 ○ IP アドレスを自動的に取得する ● 次の IP アドレスを使用する: 	
IP アドレス:	192 . 168 . 238 . 1
サブネット マスク:	255 . 255 . 255 . 0
デフォルト ゲートウェイ:	192 . 168 . 238 . 2
● DNS サーバを自動的に取得する	
● MODINS サーバ・ 優先 DNS サーバ:	192 . 168 . 238 . 2
代替 DNS サーパ:	· · ·
接続ステータス ステータ	(ス: 接続済み
速度:	
ОК	キャンセル 適用(A)

- (12) [ベア メタル復旧 (BMR) 復旧ポイントを選択します]
 以下に、共有フォルダと復旧ポイントサーバから BMR を実行する 2 つの方法を記載しています。
 手順 A: 共有フォルダのバックアップデータからベアメタル復旧する方法
 - ⑥ 共有フォルダ・NAS上のバックアップイメージからベアメタル復旧を行うには、[参照] [ネットワーク/ローカル パスから参照] をクリックします。

「バックアップ情報	
ホスト名:	
OS:	
DNS サフィックス:	
V-7:	
更新	f(R) 参照(<u>W</u>) ▼
	ネットワーク/ローカル パスから参照
	復旧ポイントサーバ から参照
1 つ選択した後、統行してください:	





⑦ [フォルダの選択]

バックアップ先の共有フォルダを \\ で始まる UNC パスで直接 [探す場所] に入力し、⇔アイコンをクリック します。

フォルダの遺	· 択	X
探す場所: (ロー	🚘 ¥¥192.168.238.1¥share 🗸 📄 🏠	

⑧ [Windows セキュリティ]

NAS・共有フォルダへ接続するためのアカウント情報を入力し[OK]をクリックします。

Windows セキュリティ		X
次の接続先に使用するユー ¥¥192168.2381¥share	サ名およびパスワードを入力してください:	
ユーザ名:	I	
パスワード:		
ューサ名の形式: <マシン名またはドメイン名>¥<ユーサ名>		
	OK キャン	ະມ

⑨ [フォルダの選択]

復旧対象のサーバ名のフォルダを選択し、[OK]をクリックします。バックアップ先フォルダ内の復旧するサ ーバ名のフォルダを指定します。

フォルダの選択			—
探す場所: 📃 (ローカル	¥¥1921682381¥share ドライブを選択するか、リモート共有バ	〜 えをここに入力してください。)	
名前	<u><u><u></u></u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u></u>	更新日時 2023/01/1510:03:14	
フォルダ パス:	¥¥1 92.168.238.1 ¥share		OK キャンセル





⑩ [ベア メタル復旧 (BMR)] - 復旧ポイントを選択し [次へ] をクリックします。

arcserve [®] MR	METAL RECOVERY		
ペアメタル復旧 (BMR) <i>ー 旋田ポイントを選択します</i>	以下のパックアップ済みマシンが検出されました。		
上部ペインには、すべてのパックアップ済みマシンとパックアッ プ先が表示されます。マシンをういうすると、下部ペインに 関連する後旧ポイントが表示されます。統行するには、後 旧ポイントを選択してくだちぃ。	🔮 win-ast	- パックアップ情報 ホスト名:	win-agt
注デフォルトでは、ローカル ボリュームから検出されたパッ クアップ済みマシンのさがここにリストとれます。新し4-0 ムーパブル ディスクを接続または接続解放した後、【更新】 をりいかするとマシン リストを更新することができます。 キト (参照1954) Mole マンド・ビートはおコミュルダキたり		OS: DNS לפיז לפוא	Windows Server 2016 X64
データストアからパックアップ済みマシンを追加することもで きます。		y-z:	ネットワーク/ローカル パス
インストットを作ったいないが、ドライドンが開催っている可 動性があります。使うていたロードユーティングで名称 地球があります。使うていたロードユーティングで名称 <u>スペンプングランプン</u> 。 キットワーク放光ユーティリアで名称 します	版立にとマンンCは、下の第1日ボイントが体出されました。第1日ボイン 日 記 1007/07/15 日 2007/075	トを1 つ道限した後、統行してくだない AR ステータス: パックアップの優勝: - フルドがつか7 - パックアップを使用をのシスティー - 知り210123138harefen - カンスマイスとれた参考がのフ	更新 <u>(2)</u> 李熙(20) ▼ : : : : : : : : : : : : : : : : : : :
1 個のネットワーク アダプタが検出されました vmmet3 Ethernet Adapter - IP アドレス: 192168238130		プート ファームウェア: - EIOS パックアップされたポリューム(4	使用サイズ/合計サイズ/必要な最小サイズ):
- ステータス: 探험済み		- システムで予約済み(375 M) - C¥(2512 GB/6000 GB/3 - C¥(16 MB/1021 MB/380 - E¥(101 MB/6000 GB/3)	B/500 MB/500 MB) 1027 GB) 1MB) 11 GR1 V
▲ ユーティリティ(U)			戻る® 次へ例 中止(A)







手順 B : 復旧ポイントサーバのバックアップデータからベアメタル復旧する方法

復旧ポイントサーバの構築手順については、別紙の「Arcserve Unified Data Protection 9.x 環境構築ガイド – コン ソール + 復旧ポイントサーバ – (フル コンポーネント) インストール 編」をご確認ください。

⑤ [バックアップ情報]

ネットワークの設定後、[参照] - [復旧ポイントサーバから参照]をクリックします。

パックアップ情報	
<u>ቱ</u> አጉሪ ፡	
0S:	
DNS サフィックス:	
א-א:	
更新®	◆照(₩) ▼
	ネットワーク/ローカル パスから参照
1 つ選択した後、統行してください:	復日ポイントサーバ から参照

⑥ [ノードの選択]

復旧ポイントサーバの名前解決ができない場合は、ホスト名に IP アドレスを入力します。ユーザ名とパスワ ードを入力後、[接続]をクリックしデータストア接続します。接続したデータストアを展開し対象ノードのホ スト名を選択し[OK]をクリックします。

ノードの選択				
復旧ポイントサーバ ます。	認証情報を入力し、 [接続] ボタンをクリックし	てサーバに接続し、	データ ストアおよび.	ノードリストを取得し
木スト名:	192.168.237.128 ~	ポ −ト: [8014	
ユーザ名:	administrator	לם/ביא:	ОНТТР	● HTTPS
パスワード:	•••••		接続	ŧ
このサーバで保護さ	れているデータ ストアおよびノード:			
	re k22-agt			
バックアップ先に接続	売しています			
			OK(O)	キャンセル(C)





⑦ [復旧ポイントの確認]

ソースが復旧ポイントサーバとなり、復旧ポイントを確認したら [次へ] をクリックします。

arcserve [®] MRE	METAL RECOVERY		
ペアメタル復旧 (BMR) <i>ー 復田ポイントを運択します</i>	以下のパックアップ済みマシンが検出されました:		
上部ペインには、すべてのパックアップ済みマシンとパックアッ プ先が表示されます。マシンをクリックすると、下部ペインに 関連する復旧ポイントが表示されます。続行するには、復 旧ポイントを選択してください。	🖥 win-aşt	パックアップ情報 ホスト名:	win-agt
注デフォルトでは、ローカル ボリュームから 検出されたパッ ケアップ 淡み マシンのみ がここにリストされます。新しいリ ムーパブル ディンクを接続または接続保険した後、【更新】 をりいかするとマシン リストを更新することができます。 を「 感知能やかいやすると、リートンは考了ネルドを注		OS: DNS サフィックス:	Windows Server 2016 X64
データストアからパックアップ済みマシンを追加することもで きます。		ソース:	復旧ポイントサーバ
インストールをれていないか、IPフドレスが開催されな可 能性があります。必要な場合には、以下を実行できます。 <u>こをジリックすると、</u> ドライバのロードユーティリティを超動 します します	- 指定したマシンに以下の復旧ポイントが検出されました。1	夏田ポイントを1 っ選択した後、統行してください	更新(B) ◆報(W) ▼
	E 🔁 2023/01/24	AR ステータス: - - - フルパックアップの硬着: - フルパックアップ集 (優在のシステ): - 演旧ポイントサーバ:192168 - 復旧ポイントサーバ:192168	ላ ሪያን ሪቲ አ 1 1 28 7 - 20 da Store
1 目のネットワーク アダプタが検出されました Intel(R) 82574L Bigabit Network Connection		- ノードID: 3e0sc和0-cc6F43 パックアップの説明: - カスタマイズをれた増分パックア	7a0—acea=c3cee3905166
- IF アドレン: 1921681130 - ステータス: 接続済み		ノーティアームシュア: - BIOS パックアップされたポリューム (A - システムで予約语み(375 M	使用サイズ/会計サイズ/ 必要な最小サイズ): IB/500 MB/500 MB)
▲ ユーティリティ(U)			戻る(B) 次へ(M) 中止(A)

(13) [ベアメタル復旧 (BMR) - 復旧モードの選択]

復旧モードを選択し、[次へ] をクリックします。本ガイドでは [高速モード] を選択しますが、復旧先のマシン に複数ディスクがある場合は [拡張モード] を選択して、リストア対象のボリュームが意図したディスクに割り 当てられているかをご確認ください。[拡張モード]を利用するとディスクの構成/サイズを変更できます。

arcserve MR	E METAL REGOVERY
ペアメタル復旧 (BMR) <i>- 復田モードの選択</i>	
	Ø1日モー Pを選択する
ν.	● 高速モード(E) ※達モードでは、マシンのグウゴルト設定を使用し、ユーザの操作を最小限に抑えてシステムを自動的に強旧できま す。
	○ 拡張モード(D) 拡張モードマは以上>20週間のカスマイズできます。このモードを使用すると、以下を実行できます: ペーシック・ポリーンはまたはジイキック デイウム ログーク フルトプ先を運営する。 両起動する時に、デバイス ドライバス レールする。
	注し次人を知めすると、日時のウパードは、ソースマシン上に存在するパーチパシンと一致する、新しいパーゲイションを大水イネーション上に作取します。そのもの、デスティネーションマシン上の原存のパーティションが検索され、新しいパーティッシンが作取される場合があります。
	戻る回 次へ创 中止凶
ハーション 9.0.6034; アート ファームウェア: BIOS	







[次へ] 進めると、ディスク情報が削除されます。[はい] をクリックし、BMR を継続します。

BMR	8	j
?	次のステップでマシン上のデータがすべて失われる可能性があります。 統行してよろ しいですか?	
	はい(Y) いいえ(N)	

(14) [リストア設定のサマリ]

復旧対象のドライブを確認し、[OK]をクリックします。

リストア設定のサマリ		
ディスク リストア設定のサマリ:		
ソース ディスク	デスティネーション ディスク	
ディスケノポリューム リストア設定のサマリ:		
ソース ポリューム	デスティネーション ボリューム	ディスク
(1)システムで予約済み (500 MB)	C:¥ (500 MB)	ディスク 0
🝈 C:¥ (60.00 GB)	F:¥ (60.00 GB)	ディスク 0
	D:¥ (1021 MB)	ディスク 1
(60.00 GB)	E:¥ (60.00 GB)	ምィスク 2
リストア設定を確認し、[OK]をクリックして統行	します。リストア設定を手動で調整する場合は、「*	キャンセル]をクリックしてください。
	r	OK キャンセル

- [リストア設定のサマリ] 画面の下部にある「デスティネーション ボリューム」列に表示されるドライブ文字は、Windows プレインストール環境(WinPE)から自動的に生成されているため、「ソース ボリューム」列に表示されるドライブ文字とは異なる場合があります。ドライブ文字が異なっている場合でも、データは問題なく適切なボリュームにリストアされます。
- [OK] をクリックするとベアメタル復旧が開始しますので、設定が適切でない場合には [キャンセル] をクリ ックし、設定をやり直してください。

(15) [ベア メタル復旧 (BMR) – リストア プロセスの開始]

リストアが開始されます。復旧が終わると、システムは自動で再起動されます。再起動後、サーバにログイン

しシステムが正常に復旧していることを確認します

このシステムを自動的に再起動するには、[再起動] をクリックします。BMR ログ ファイルをすべて収 集する場合、アクティビディ ログ ユーティリティを使用できます。 <u>ここをクリックすると、</u> アクティビディ ログ ユーティリティを起動します。		
システムが再起動するまで、あと 9秒。		
再起動®) キャンセル(C)		
プート ボリュームが現在のデスティネーション ディスク O にリストアされました。このデ イスクからシステムを起動してください。		





(16) 仮想マシンが起動し、ストレージから起動するよう操作をします。※この操作はリストア直後の初回のみです

「exit」を入力し、Enter を押します。

UEFI Interactive Shell v2.2
EDK II
UEFI v2.70 (EDK II, 0x00010000)
Mapping table
FS0: Alias(s):CD0d1:;BLK2:
PciRoot (0x0) /Pci (0x1,0x1) /Ata (0x0) /CDROM (0x1)
BLK0: Alias(s):
PciRoot (0x0) /Pci (0x1,0x1) /Ata (0x0)
BLK1: Alias(s):
PciRoot (0x0) /Pci (0x1,0x1) /Ata (0x0) /CDRDM (0x0)
Press ESC in 1 seconds to skip startup.nsh or any other key to continue.
Shell> exit_

(17) 「Boot Manager」を選択します。

Virtual Machine pc-i440fx-2.6 0.0.0		2.00 GHz 8180 MB RAM
Select Language Device Manager Noot Manager Boot Maintenance Manager Continue Reset	<standard english=""></standard>	This selection will take you to the Boot Manager
†↓=Move Highlight	<enter>=Select Entry</enter>	




(18) 「UEFI Misc Device」を選択し、「Enter」を押します。

Boot Manager		
Boot Manager Menu UEFI QEMU DUD-ROM QM000004 EFI Internal Shell UEFI Floppy UEFI Floppy 2 UEFI QEMU DUD-ROM QM00003 IEFI Misc Device UEFI Misc Device 2 UEFI Misc Device 2 UEFI PXEv4 (MAC:00E009AB4305) UEFI HTTPv4 (MAC:00E009AB4305) Use the <1> and <1> keys to choose a boot option, the <enter> key to select a boot option, and the</enter>	Device Path : PciRoot(0x0)/Pci(0x4.0 x0)	
↑↓=Move Highlight <enter>=Select Entry Esc</enter>	c=Exit	

(19) OS が起動します

TianoCore Open Platform Firmware Development	
Ę	

- ※ 高速モードで BMR した場合、デフォルトでは再起動後、UDP エージェントサービスは、自動起動しません。これは、サーバやアプリケーションの動作確認中に意図しない、スケジュールバックアップを動作させないためです。サーバやアプリケーションの動作を確認後、OS のサービスの設定から「Arcserve UDP エージェントサービス」のプロパティの設定を変更しバックアップ運用を再開してください。
 - スタートアップの種類を[手動]→[自動]
 - サービスの状態:[開始]をクリック





\sim	
Stratus	

(ローカル コンピューター) A	Arcserve UDP エージェント サービス のプロパティ	×		
全般 ログオン 回	復 依存関係			
サービス名:	CASAD2DWebSvc			
表示名:	Arcserve UDP エージェント サービス			
説明:	Arcserve UDP エージェント 用の Web サービスを提供します。 、			
実行ファイルのパス: "C:¥Program Files¥	Arcserve¥Unified Data Protection¥Common¥Tomcat¥bin¥ton			
スタートアップの 種類(E):	手動 ~ 自動 (遅延開始)			
	目前) 手動			
サービスの状態:	無効 実行中			
開始(S)	停止(T) 一時停止(P) 再開(R)			
ここでサービスを開始するときに適用する開始パラメーターを指定してください。				
開始パラメーター(M):				
	OK キャンセル 適田(A)			



6. ztC Edge 製品情報、お問い合わせ先

製品のカタログや FAQ などの製品情報や、動作要件や注意事項などのサポート情報については、ウェブサイトより確認してください。

6.1 製品情報

ztC Edge 製品 https://www.stratus.com/jp/solutions/platforms/ztc-edge/

ztC Edge 特徴、データシート https://www.stratus.com/jp/solutions/platforms/ztc-edge/#features

ztC Edge 詳細情報

https://www.stratus.com/jp/solutions/platforms/ztc-edge/#get-started

製品ドキュメント https://ztcedgedoc.stratus.com/splash/Default.htm

6.2 お問い合わせ先

日本ストラタステクノロジー株式会社
〒102-0085 東京都千代田区六番町 6 勝永六番町ビル
TEL. (03) 3234-5562 (マーケティング部)
FAX. (03) 3234-6733
E-mail: marketing.jpn@stratus.com

